

平成 29 年度

第 2 回青少年意見募集事業結果

テーマ

子供の読書活動の推進について

(提案元：文部科学省)

意見受付期間

平成 29 年 8 月 14 日 (月) ~ 9 月 3 日 (月)

平成 29 年 9 月

主に自由回答形式の質問に対する回答を、回答の要点ごとに分析して集計し、分類ごとに主な意見を掲載している。意見の掲載に当たっては、必要に応じ、要約している。

第 2 回 子供の読書活動の推進について（文部科学省）

1. 設問

- 質問 1-1 あなたは普段どのくらい本を読んでいますか。
- 質問 1-2 あなたが本を読むとき、どのように入手していますか。
- 質問 1-3 （質問 1-2 で、「その他」と答えた方） 「その他」の具体的な内容を書いてください。
- 質問 2 読書について、どのような印象を持っていますか。ポジティブな印象とネガティブな印象に分けて教えてください。そのような印象を持った原因や理由もできるだけ書いてください。
- 1 ポジティブ（楽しい、ワクワクする、うれしい、満足、役立つ、面白い、かっこいい、知的、等）
 - 2 ネガティブ（苦痛、退屈、つらい、むかつく、困る、暗い、ださい、孤独、等）
 - 3 ネガティブな印象をポジティブな印象に変えていくにはどうすればよいと思いますか。具体的に何がどのように変われば良いと思うかも含めて教えてください。
- 質問 3 これまでの読書体験を思い出し、小学生のころ・中学生のころ・高校生のころの各時期において、本を読もうと思った主なきっかけを教えてください。
- 質問 4-1 あなたは、好きなもの・気に入ったことなどを人におすすめしたり、感想を伝えたりするときどのような方法をとりますか。
- 質問 4-2 人がおすすめしているのを見たり聞いたりしたことがきっかけとなって、興味を持ったり実際に行動したりしたことがありますか。ある場合、それは誰が何をどのようにすすめていたのかを含めてエピソードを教えてください。
- 質問 5-1 ビブリオバトル、ブックトークなど、読んだ本をおすすめしたり、感想を伝え合ったりする活動に参加したことがありますか。
- 質問 5-2 （質問 5-1 で「ある」と答えた方） そのときの感想を教えてください。
- 質問 5-3 （質問 5-1 で「ない」と答えた方） やってみたいかどうかと、その理由を教えてください。
- 質問 6 それぞれ以下のような理由で読書をしていない友達がいます。あなたはその友達に、自分から進んで本を読んでもらいたいと考えるとき、どのようなことができますか。具体的に教えてください。なお、それぞれの設問について必ずしも異なる答えを書く必要はありません。
- 1 部活で忙しくて時間が無いと言っている友達
 - 2 スマホを長い時間使っている友達（SNS やゲームなど）
 - 3 友達同士でファーストフード店等に行き、長くおしゃべりをしている友達
 - 4 宿題や塾で忙しいと言っている友達
 - 5 本を読むのが苦手と言っている友達
 - 6 一人で読むのが寂しいと言っている友達
 - 7 その他、上記以外の理由で本を読まない友達に、どのような働きかけができるか、アイデアがあれば教えてください。

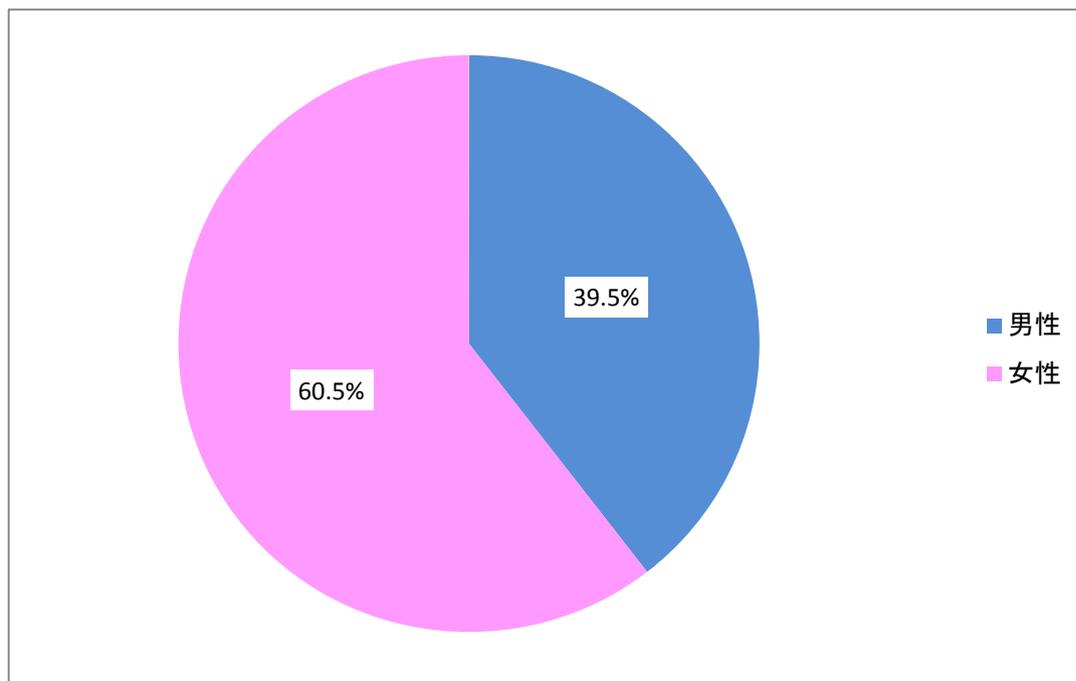
2. 意見受付期間

8 月 14 日（月）～9 月 3 日（月）

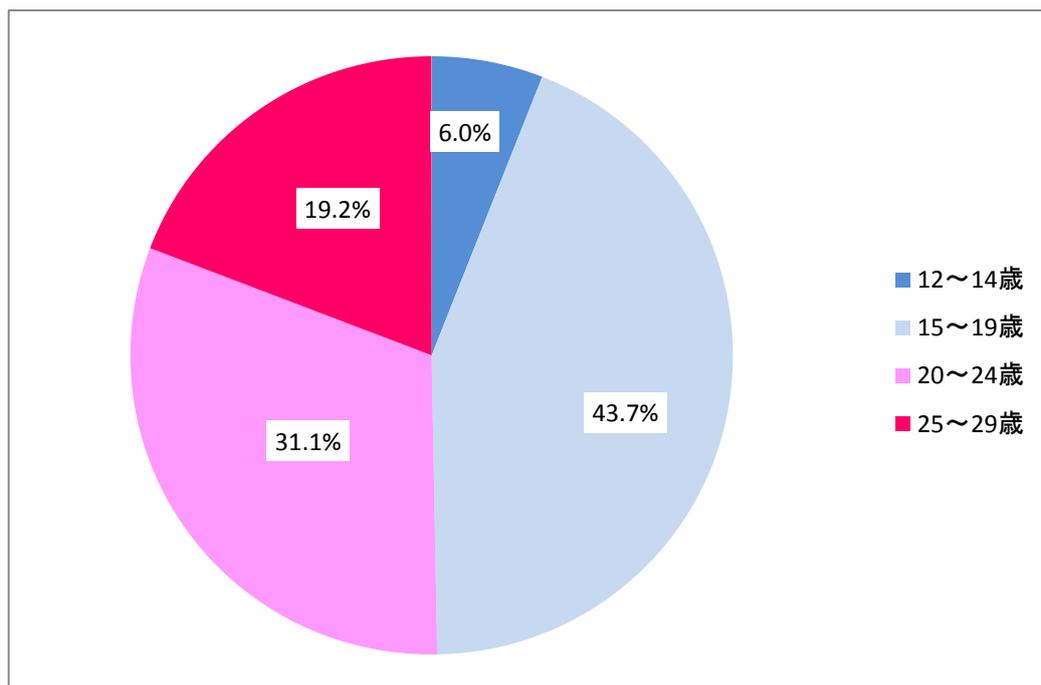
3. 回答者数・回答属性

【回答者数】 男性：66 名 女性：101 名 合計：167 名 （配信数：267 名、回答率：62.5%）

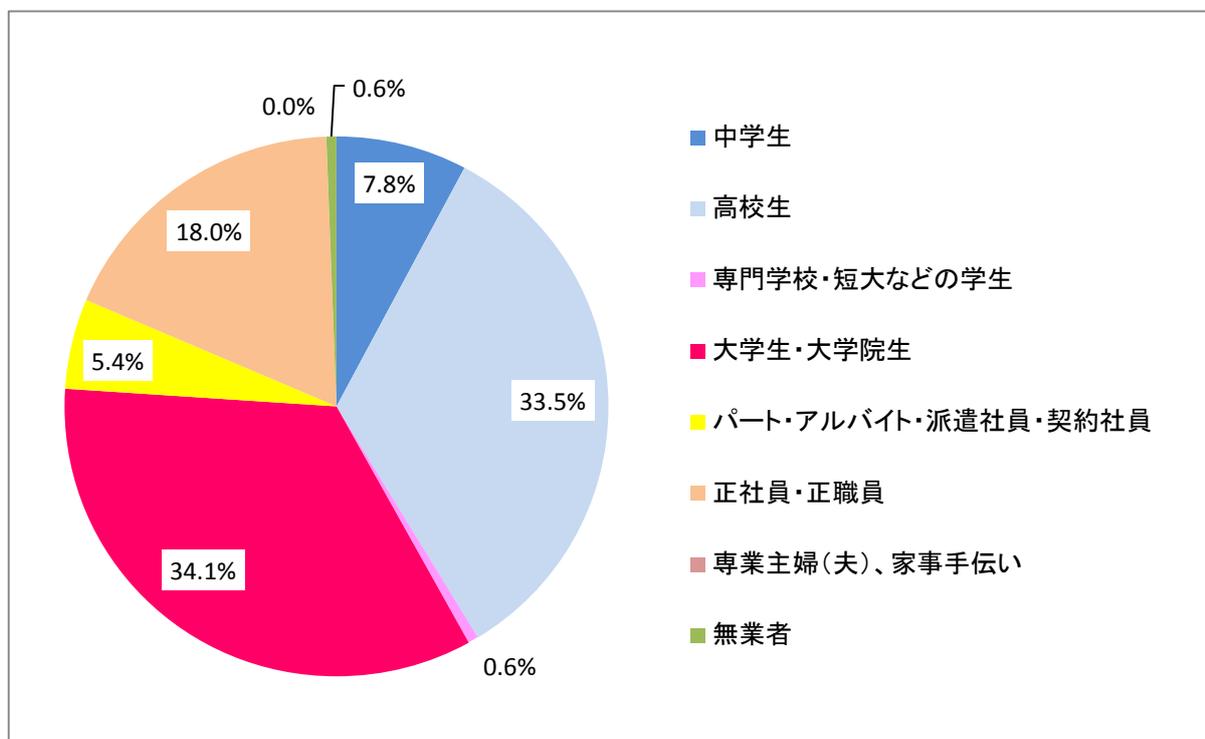
【性別】 男性が 39.5%、女性が 60.5%であった。



【年齢】 12～14 歳が 6.0%、15～19 歳が 43.7%、20～24 歳が 31.1%、25～29 歳が 19.2%であった。

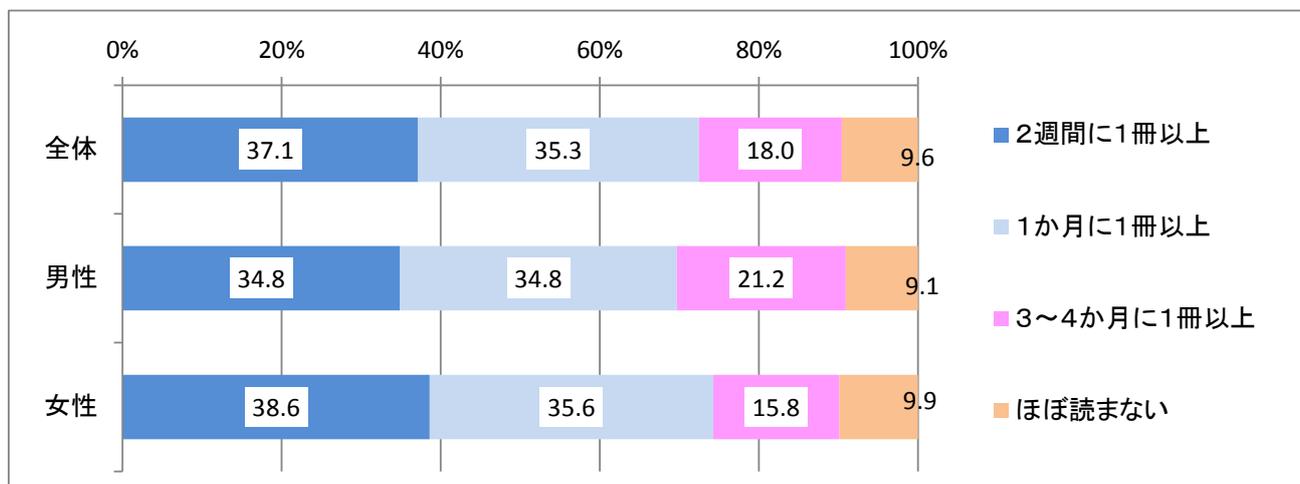


【職業】 中学生が 7.8%、高校生が 33.5%、専門学校・短大などの学生が 0.6%、大学生・大学院生が 34.1%、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員が 5.4%、正社員・正職員が 18.0%、専業主婦（夫）・家事手伝いが 0.0%、無業者が 0.6%であった。



4. 集計結果

質問 1 - 1 あなたは普段どのくらい本を読んでいますか。



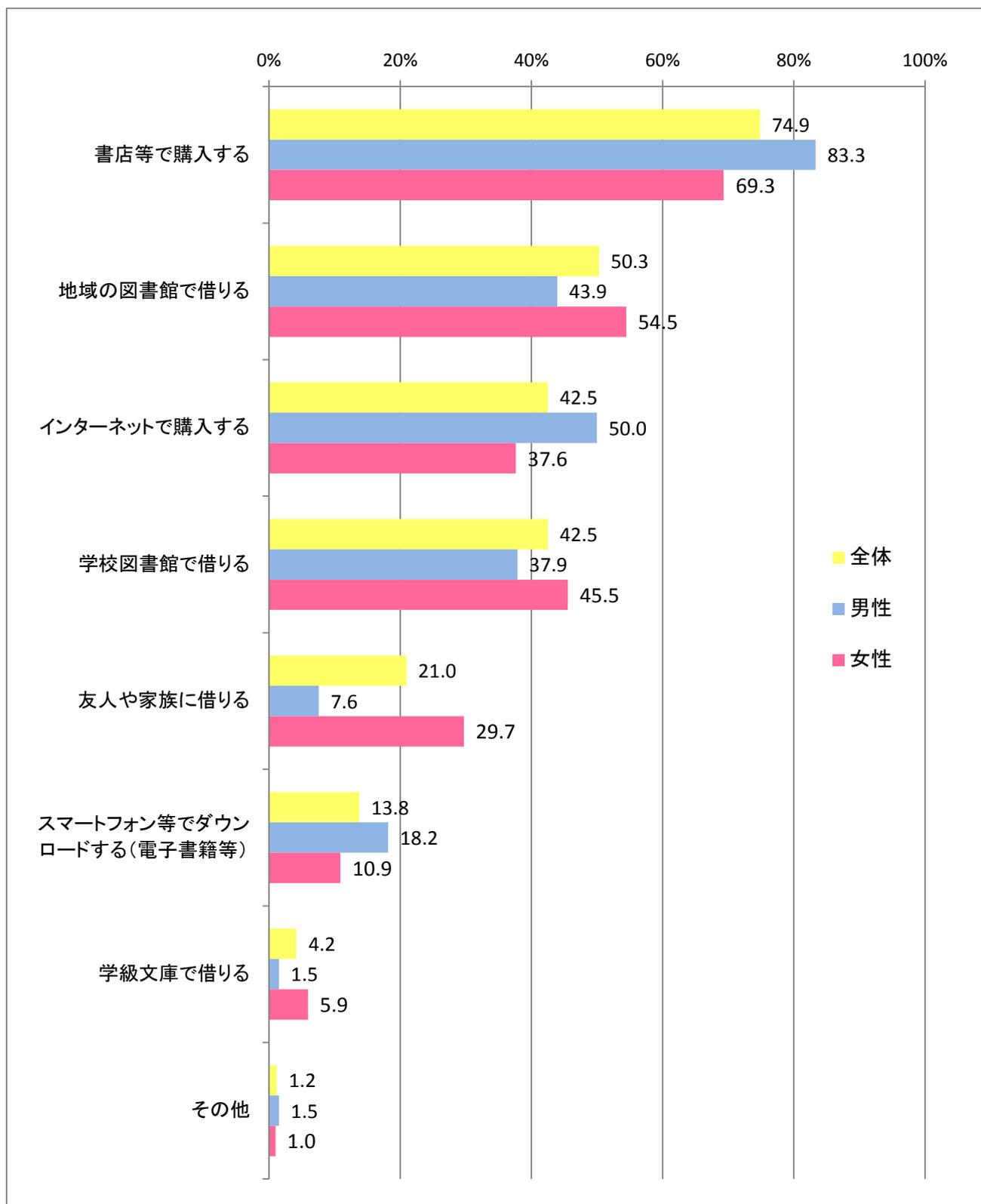
上段：人数 下段：%		全 体	2 週 間 に 1 冊 以 上	1 か 月 に 1 冊 以 上	3 か 月 以 上 に 1 冊	ほ ぼ 読 ま な い
全体	167	100.0	62	59	30	16
性別						
男性	66	100.0	23	23	14	6
女性	101	100.0	39	36	16	10
年代						
12~14歳	10	100.0	6	1	2	1
15~19歳	73	100.0	20	25	19	9
20~24歳	52	100.0	21	22	5	4
25~29歳	32	100.0	15	11	4	2
性別×年代						
男性 12~14歳	2	100.0	1	-	1	-
男性 15~19歳	24	100.0	6	8	7	3
男性 20~24歳	23	100.0	9	8	4	2
男性 25~29歳	17	100.0	7	7	2	1
女性 12~14歳	8	100.0	5	1	1	1
女性 15~19歳	49	100.0	14	17	12	6
女性 20~24歳	29	100.0	12	14	1	2
女性 25~29歳	15	100.0	8	4	2	1
属性別						
中学生	13	100.0	7	3	2	1
高校生	56	100.0	17	16	16	7
専門学校・短大などの学生	1	100.0	1	-	-	-
大学生・大学院生	57	100.0	21	24	8	4
パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9	100.0	5	2	1	1
正社員・正職員	30	100.0	11	14	3	2
専業主婦(夫)、家事手伝い	-	-	-	-	-	-
無業者	1	100.0	-	-	-	1

○ 全体で見ると 37.1%が「2週間に1冊以上」、35.3%が「1か月に1冊以上」、18.0%が「3~4か月に1冊以上」、9.6%が「ほぼ読まない」と回答した。

○ 年代別で見ると、15~19歳は「2週間に1冊以上」と回答した割合が、他の年代に比べて最も低かった。

○ 男女別で「2週間に1冊以上」と「1か月に1冊以上」と回答した割合の合計を見ると、女性は男性より読書頻度は若干高い傾向であった。

質問 1-2 あなたが本を読むとき、どのように入手していますか。



上段：人数 下段：%		全 体	書 店 等 で 購 入 す る	地 域 の 図 書 館 で 借 り る	イ ン タ ー ネ ッ ト で 購 入 す る	学 校 図 書 館 で 借 り る	友 人 や 家 族 に 借 り る	ス マ ー ト フ ォ ン 等 で ウ ン ロ ー ド す る (電 子 書 籍 等)	学 級 文 庫 で 借 り る	そ の 他
全体	167 -	125 74.9	84 50.3	71 42.5	71 42.5	35 21.0	23 13.8	7 4.2	2 1.2	
性別	男性	66 -	55 83.3	29 43.9	33 50.0	25 37.9	5 7.6	12 18.2	1 1.5	1 1.5
	女性	101 -	70 69.3	55 54.5	38 37.6	46 45.5	30 29.7	11 10.9	6 5.9	1 1.0
年代	12～14歳	10 -	7 70.0	7 70.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	- -	2 20.0	- -
	15～19歳	73 -	55 75.3	40 54.8	21 28.8	38 52.1	17 23.3	8 11.0	4 5.5	- -
	20～24歳	52 -	38 73.1	24 46.2	24 46.2	27 51.9	7 13.5	5 9.6	1 1.9	1 1.9
	25～29歳	32 -	25 78.1	13 40.6	25 78.1	2 6.3	9 28.1	10 31.3	- -	1 3.1
性別×年代	男性 12～14歳	2 -	2 100.0	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	男性 15～19歳	24 -	19 79.2	11 45.8	7 29.2	9 37.5	3 12.5	5 20.8	- -	- -
	男性 20～24歳	23 -	19 82.6	10 43.5	14 60.9	14 60.9	2 8.7	2 8.7	1 4.3	1 4.3
	男性 25～29歳	17 -	15 88.2	6 35.3	12 70.6	- -	- -	5 29.4	- -	- -
	女性 12～14歳	8 -	5 62.5	5 62.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	- -	2 25.0	- -
	女性 15～19歳	49 -	36 73.5	29 59.2	14 28.6	29 59.2	14 28.6	3 6.1	4 8.2	- -
	女性 20～24歳	29 -	19 65.5	14 48.3	10 34.5	13 44.8	5 17.2	3 10.3	- -	- -
	女性 25～29歳	15 -	10 66.7	7 46.7	13 86.7	2 13.3	9 60.0	5 33.3	- -	1 6.7
属性別	中学生	13 -	9 69.2	9 69.2	2 15.4	6 46.2	3 23.1	- -	2 15.4	- -
	高校生	56 -	43 76.8	32 57.1	16 28.6	27 48.2	13 23.2	6 10.7	4 7.1	- -
	専門学校・短大などの学生	1 -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -
	大学生・大学院生	57 -	41 71.9	22 38.6	26 45.6	36 63.2	6 10.5	5 8.8	- -	1 1.8
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 -	6 66.7	5 55.6	7 77.8	1 11.1	5 55.6	3 33.3	- -	- -
	正社員・正職員	30 -	24 80.0	14 46.7	19 63.3	- -	8 26.7	8 26.7	- -	1 3.3
	専業主婦（夫）、家事手伝い	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	無業者	1 -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

※複数回答有り：回答数 418

- 全体で見ると「書店等で購入する」と回答した割合が 74.9%と最も高く、次いで「地域の図書館で借りる」が 50.3%、「インターネットで購入する」が 42.5%の順となった。
- 年代別で見ると、12～14 歳は「地域の図書館で借りる」、25～29 歳以上は「インターネットで購入する」と回答した割合が、全体と比較して高かった。
- 男女別で見ると、男女とも「書店等で購入する」と答えた割合が最も高かった。

質問 1 - 3 (質問 1 - 2 で、「その他」と答えた方) 「その他」の具体的な内容を書いてください。

提出された主な意見

- ・小説を掲載している WEB サイトを閲覧したり、同人誌即売会 (文学フリマなど) で購入する。
(女性/29 歳/正社員・正職員)

質問 2 読書について、どのような印象を持っていますか。ポジティブな印象とネガティブな印象に分けて教えてください。そのような印象を持った原因や理由もできるだけ書いてください。
(自分のことだけではなく、多くのクラスメイトや友達が言っている話も書いてください。)

1 ポジティブ (楽しい、ワクワクする、うれしい、満足、役立つ、面白い、かっこいい、知的、等)

提出された主な意見

■楽しい・面白い・嬉しい

- ・ストーリーなどが面白いとすぐに続きを読みたくなりワクワクする。色々なことを学ぶことができる。
(女/14 歳/中学生)
- ・リフレッシュ、楽しい、わくわくする。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・楽しい、感動する、知識が増える、教養が深まる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・好き、楽しい、読み終わった時の達成感。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・新しいことを知ることができて楽しい媒体だと思います。子どもにとっての絵本に近いもので、その場にながらあらゆる世界を思い描いたり、知らない世界のことを知ったり、新しい考え方を得たりと無限の可能性を秘めたいい物だと学校の読書の時間に思いました。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・新しい世界を知ることができわくわくドキドキ、時にははらはら。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・待ちきれない、楽しみ、意識高い。(男/17 歳/高校生)
- ・物語の展開にハラハラドキドキする楽しさや犯人やトリックを考える面白さ、登場人物と自分を重ね合わせる楽しさなど、普段の生活では味わえない感情を体験できる。日常生活で辛いことがあっても、本の中の世界が楽しければ救われる。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・本を読むことは、面白いし自分が知らない世界に連れていってくれる気がする。(男/17 歳/高校生)
- ・面白い、ドキドキする、新しいことを身につけることができる、感動する、想像力が働く。(女/19 歳/大学生・大学院生)

■知識・教養が増える

- ・学問や時代、娯楽など多岐に渡って知識を入れることができる。(男/16 歳/高校生)
- ・感性、知識量、読解力、想像力は絶対に養われる。誰かの書いた誰かの人生を読みながら、自分とも向き合える。誰かの人生や考え方を客観的に見ながら、自分の世界にも入り込めるという不思議な力を持っていると思う。(女/18 歳/高校生)
- ・教養が身に就く (様々なジャンルに関する知識の習得)、読解力が身に就く (筆者の考えを読み解く力)

が自然と身につく)、語彙力・漢字の自然定着、頭がよさそう(今ではみんな読書をしないから)。(女/17 歳/高校生)

- ・語彙が増える、ワクワクできる。(女/16 歳/高校生)
- ・色々なことを知ることができ、相手に伝わりやすい文章なども学べるためとても有意義。(女/18 歳/高校生)
- ・色々な知識を得られるし、興味を広げることができる。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・知識が増える、想像力が増える、語彙力が増える。(女/16 歳/高校生)
- ・読解力が上がる、知識がつく、楽しい(自分が日頃から本を読んでいて感じる事)。(男/15 歳/高校生)
- ・様々な知識や表現方法が身につく。価値観を改めて考えたり、別の視点に立ち考えることが出来る。(男/20 歳/専門学校・短大などの学生)

■気分転換・現実逃避・疑似体験が出来る

- ・仮想の世界を追体験でき、面白い。また、そこから自分の人生に生かせるヒントを得ることができる。(男/15 歳/高校生)
- ・楽しい、現実逃避、気分転換。(男/18 歳/高校生)
- ・現実逃避できる。他の人の考え方や世界観を知ることができる、体験できる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・自分のためになる。考え方を学べる。現実逃避できる。経験したような気分になる。(女/16 歳/高校生)
- ・自分の知識のひとつになる。現実逃避になる。その世界に入ると価値観が変わったりする。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・実際に自分では経験できないことも、本を読むことで経験することができてわくわくする。感動的な話を読むと、泣いて、爽やかな気持ちになれる。たくさん知識を身につけられる。(女/17 歳/高校生)
- ・非日常的な世界に浸ることができる。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・普段の生活とは違う世界に触れることができるので、その時間だけでも癒されるし、日常では味わえない満足が得られる。(女/22 歳/正社員・正職員)

■視野・世界が広がる

- ・自分とは異なる考えを著者が持っていた時、新しい発見があり、今までなかった新しい発想が生まれる。読書をする事で、普段のコミュニケーションでは身につけることのできない語彙や表現ができるようになる。多くのことを学ぶことができ、教養が増える。読書をする事で集中力が高くなる。(男/18 歳/高校生)
- ・私は本を読み終えたとき、文字では表せないような感情になります。本を読めばなんでもプラスになる印象。知識が増え、感情豊かにもなり、そして新しい世界が開けるような気がします。(女/18 歳/高校生)
- ・視野が広がる、楽しい、幸せになる、知識が増える、新しい言い回しが身につく、新しい価値観、考え方に会える、ワクワクする、好きな本に出会えてドキドキする。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・自分の世界を広げることができる。自分の場合、歴史の教科書で坂本龍馬に憧れを抱かなかったが、著作の龍馬に対しては、強烈な尊敬の念を抱いた。例えば、その海外志向性は、私の進路などに大き

な影響を与えた。(男/22 歳/正社員・正職員)

- ・ 普段出逢わない意見や思考に触れられる、今生きていない人の思考にも触れられる、一人で向きあえる、静か、自分の世界をもてる、知らないことが理解できる。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・ 様々な意見が頭に入ることにより、視点が柔らかくなり、新しい世界を知ることができる嬉しさがある。(男/22 歳/正社員・正職員)

■知的・役に立つ

- ・ 実世界の読み書きにとっても役立つし、深い思考能力が身につく。(女/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・ 知らない世界を知ることができ、また知識を得られるのでワクワクする、知的という印象があります。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・ 知的。本を読む人は語彙力が高いから。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・ 勉強になる。役に立つ。(女/15 歳/高校生)
- ・ 役に立つ、前向きになれる、楽しい。(女/26 歳/大学生・大学院生)
- ・ 優等生っぽい。ためになる。(男/29 歳/正社員・正職員)

■コミュニケーションのきっかけになる

- ・ 語彙力や知識を高めてくれる。友達との話題の種になる。(女/16 歳/高校生)
- ・ 読書の楽しみと言ったら、同じ本を読んだ友達と語り合ったり感想を言い合ったりするのが楽しいと思う。本の好きな場面とかセリフとか語り合うことによって、より本を深く味わえたり考えたりすることができると思う。(女/15 歳/高校生)
- ・ 知識。知的好奇心。本を読むことで知識がつく。想像力が膨らむ。他人との会話のネタになる。時間を忘れる。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・ 知識を身に付けることができ、また友人や上司と本をテーマにコミュニケーションをとることができる。(男/25 歳/正社員・正職員)

■その他

- ・ 一人の時間を大切に過ごせる。自分の知らない知識や世界を知ることができる。人生に役立つことがある。(女/29 歳/正社員・正職員)
- ・ 集中して読んでしまい、時が過ぎるのが早く感じる。(女/15 歳/高校生)

2 ネガティブ（苦痛、退屈、つらい、むかつく、困る、暗い、ださい、孤独、等）

提出された主な意見

■面倒くさい・とっつきにくい

- ・面倒くさい。絵がなくて文字ばかりでつまらないから。(女/13 歳/中学生)
- ・活字を読んで自発的に情報を取得するのが面倒くさい。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・借りたり読むのが面倒くさい。(男/15 歳/高校生)
- ・真面目で孤独な人がやるイメージ。読書より漫画を読む方が好き・・・友達談。(女/12 歳/中学生)
- ・読んだら楽しいが、読む前までは少し面倒くさいと感じるときがある。(女/18 歳/高校生)
- ・悲しい話だと、生活の中に引きずってしまう、読み出すまで、なんとなく億劫。(女/17 歳/高校生)
- ・疲れる、とっつきにくい、面倒。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・面倒。読書より楽しい物事が周囲にあり、読書が大切と分かりつつも後回しになってしまう。(男/21 歳/大学生・大学院生)

■真面目・暗い・地味・孤独

- ・あまり、読書が趣味という人がいない。偏屈な感じがする。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・ある程度の時間が必要。すきま時間の活用という方法もあるが、ある程度まとまった時間をとって、腰を据えて読んだ方が良い場合もある。また、就職活動のエントリーシートなどの趣味の欄に「読書」と書かない方が良いとされている。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・クラスで一人で行動している人がいつも読書をしている。ずっと、読書ばかりしている人は、暗いイメージがする。(女/14 歳/中学生)
- ・つらい、ださい。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・なんとなく本好きな人は内向な人が多い気がしますし、家の中に閉じこもって読んでいることが多いと思うので暗い印象があります。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・まじめ。本を読んでいるだけでがり勉という印象がついて、噂されるから。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・暗く孤独な印象。(男/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・学校生活のなかでは、やや「暗い」趣味というイメージがある。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・根暗に見える、地味に見えてしまう。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・周りから見ると暗い印象を持たれがちである。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・真面目、おとなしい、暗い、ひとりぼっちなどの印象を受ける。周囲に友達がおらず、することがないから本を読んでいる、面白みのない人間だと思われそう。また、学校の課題図書など、自分の趣味ではないのに強制されて読む本は面白くない。勉強に関連するものはともかく、私にとって読書は娯楽なので読みたいものを好きに読みたい。小説以外の、新書などは内容も使われる語彙も小難しく理解できないことが多く、退屈。そもそも読書が好きでない人にとって、びっちらとした文字の羅列は見ているだけで苦痛だと思う。(女/15 歳/高校生)
- ・地味。クラスで読書ばかりしていると真面目に見えてしまう。(女/15 歳/高校生)
- ・読書をしている姿は真面目という印象を受けがちである。現代の若者は真面目というレッテルを貼られることを嫌がっているように感じる。(女/17 歳/高校生)

■長い・時間がかかる・途中で飽きる

- ・たいへん。読むこと自体は面白いが、中には難しい内容の本もあり、その場合、読むのが大変だなと感じることがある。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・つまらない。本に興味が無いと言う声がよく聞かれる。(女/15 歳/中学生)
- ・時間がかかる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・集中して読むのに時間がかかり、同じ本だと途中で飽きてしまったり、難しすぎる内容だと頭に入らず、時間が無駄に流れてしまうことがある。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・選んだ本によっては退屈。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・学生は勉強や部活などでその他の時間があまりないが、本を読むには時間がかかるため。(女/16 歳/高校生)
- ・退屈。本を読むと眠くなることが多いから。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・読み切ることができない、本が重い・邪魔、かっこつけてみえる。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・読み切するのに時間がかかる、読む機会がない、値段が高い。(女/16 歳/高校生)
- ・内容や文体、言葉使いなどが合わないと思うと、読もうとは思えない。そうになると、退屈だし、眠くなってしまう。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・難しすぎると眠くなる。体力の消耗。(女/16 歳/高校生)
- ・眠くなる、疲れる、長い、言葉が難しい、面白い本に出会えない、お金がかかる。(女/19 歳/大学生・大学院生)

■活字を読むのが苦痛・難しい

- ・画像、映像を普段見ることが多いので、文字を読み進めていくのは疲れる。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・活字を読むのが苦手。読書をしなくても面白いことはたくさんある。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・座って読むのが苦痛、活字にすぐ飽きる、読んでいる時間をもったいない。(女/16 歳/高校生)
- ・難しい漢字、難しい言葉。(女/17 歳/高校生)
- ・文字だけであることが苦痛であり、一回読み始めると先が気になって、まとまった時間を作らないと読めない自分にとっては少し読みづらいつ感じています。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・文字を見るのが嫌になる。眠くなる。1 人の世界に入ってしまうので他の人が話しかけづらい。それにより友達関係が限られてくる。本を読むことが嫌いなら、退屈な時間でしかなくなる。(女/17 歳/高校生)
- ・文字を普段読み慣れていないので読むのが苦痛と言う人がいる。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・友達は活字を見るのがしんどい。ドラマ化、アニメ化、映画化したものを見れば良いと言っています。(女/16 歳/高校生)

■疲れる・視力が落ちる

- ・自分が持つネガティブな印象：手が痛くなる。周りから聞くネガティブな印象；目が痛くなる、頭が痛くなる、疲れる、退屈、頭に内容が入ってこない、時間がかかる。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・読む場所を考えないと目が悪くなる。目が悪くなると眼鏡とかコンタクトとか新調しなければいけな

いし、どんどん悪くなる一方。悪循環。また、常に読んでいたいけど、重いので移動に向かない。そして新しい本とか専門書とかは特に高価なので手が届かない。(女/22 歳/大学生・大学院生)

- ・ 疲れる、肩が凝る、目が痛くなる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ 文字を読むのは疲れるので、耳で聞く方が楽だ。文字の中から自分で想像するため、堅い話では頭の中に入りづらく理解できないときがある。1つの話しを読み終わるのに時間がかかり、途中で読むことに飽きてしまう。(女/17 歳/高校生)
- ・ 本を読みすぎると視力が落ちる。ずっと集中して一点を見続けていると瞬きも少なくなるし、近くばかり見るので視力が落ちると習ったから。(女/20 歳/大学生・大学院生)

■お金がかかる・持ち歩きにくい

- ・ 結構お金がかかるので買うのが大変。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ 持ち歩きにくい。(男/17 歳/高校生)
- ・ 図書館では長期間借りられない。購入するとお金がかかる。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・ 値段が高い。(男/17 歳/高校生)

■その他

- ・ ネガティブな印象を持ったことがないです。(女/24 歳/大学生・大学院生)
- ・ アウトドア派としては体を動かさないし、外に出ないので一日無駄にってしまった感がある。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ 仕事や勉強で疲れている場合には、頭を休ませることが出来ない点で、有効なリラックスにならないことがある。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ 思ったよりも重い話だったり、残酷な話を読んだあと後味が悪く、少し読んだことを後悔してしまうときがある。(女/18 歳/高校生)
- ・ 読まない人には魅力が伝わりづらい。(男/23 歳/大学生・大学院生)
- ・ 読んでいて楽しくない、得るものがない本を読むとそのためにかけた時間やお金ももったいなく感じる。(女/29 歳/正社員・正職員)
- ・ 白い目で見られる。(女/15 歳/中学生)
- ・ 勉強のようにテストの結果に反映しない、飽きる、つまらない本が多い。(女/17 歳/高校生)

- 3 ネガティブな印象をポジティブな印象に変えていくにはどうすればよいと思いますか。
具体的に何がどのように変われば良いと思うかも含めて教えてください。

提出された主な意見

■読み聞かせ

- ・自分は小さい頃から読書が好きでした。それは、小さい頃回りの親族からの読み聞かせが寝る前にあったからかなあとと思います。(男/17 歳/高校生)
- ・親から読み聞かせをしてもらって好きになったので、親が読み聞かせをすればいいと思います。(女/14 歳/中学生)
- ・子供が小さい頃から親や先生が読み聞かせをして、自ら読まなくても本に触れる機会を作り、その面白さを自分で感じて自発的に読むようになるまで、その活動を続ける。(女/17 歳/高校生)

■図書館・学級文庫・本屋

- ・私の市の図書館は外観がとてもおしゃれで、中も綺麗です。予算を使って、建物を整備し、図書館をもっとイメージアップに利用してみてもいいと思います。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・図書館の本をもっと充実させる（特に絵本など）。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・読書を外に出ることと結びつける。蔦屋書店など、楽しい本屋が増えれば、本屋に出かけて本を読むことにもつながるし、図書館にスターバックスなどが入れれば、行くのも楽しい。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・評論の問題を高校生のためになるような内容のものをだす。まず、図書館を増やして読書する機会をもうける。図書カードの発行。国が読書の日というのを作って、その日は休業してでも読書する。(男/16 歳/高校生)
- ・本を読む空間、居心地の良い空間を地域の中でたくさん整備する。私は、広くて気持ちのいいお気に入りの図書館を最近見つけてから時間があると通い、雑誌、マンガ、小説を読むのが楽しくなりました。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・本を毎回購入するのは大変なので、図書館に新刊がたくさん入ると嬉しい。(男/25 歳/正社員・正職員)

■読書時間の設定・習慣づけ

- ・とにかく読書を習慣づける。読書に対するネガティブなイメージは大抵の人が持ちやすい。それは自分が実際に魅力に気づいていないからだと思う。毎日少しずつでも何ページずつかでも読み進める習慣をつけると良いと思う。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・本を読む人が現在より多くなれば印象も変わると思います。日本人は多数派の意見に自らも属そうとする民族なので、本を読む人が多数派になれば読書についてのイメージがよくなると思います。(男/17 歳/高校生)
- ・学校でみんなで読書をする時間を設けると、孤独感というネガティブイメージは払拭されると思う。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・学校の図書館などを積極的に利用する。学校で本を読む時間を作る。(女/16 歳/高校生)
- ・学校内の課題として読書を設定するなど、読む環境を設定する。(男/15 歳/高校生)
- ・少しの時間でもいいから読書をする習慣をつける。読書がもたらす効用を実感すること。生活習慣を見直して、健康な状態で読書をする環境を作る。(男/18 歳/高校生)
- ・全員が読書を楽しめるようになれば、読書をしている人にたいして、変なイメージを持たなくなると思う。そのためにも、学校で読書活動を進めていくことは大切なことだと思う。(女/14 歳/中学生)
- ・読書をする時間を週に一回設けることを義務化する。小学校までは読書タイムがあったからたくさん本を読めたが中・高では無くなって、ほとんど本が読めなくなったから。(女/16 歳/高校生)
- ・普段から本だけではなく新聞などの文字を読むような習慣作りをすること。また、学校でやっても家で保護者の方が読まないために本が家にないという人もいるようなので、家庭から変えていくべきであると思う。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・幼少期から触れる、本を読んでいる状況を見せる。(男/17 歳/高校生)

■情報交換・共有

- ・クラスや合宿などで、好きな本やお勧めの本を紹介し合う時間を作れば良いと思う。普段あまり本を読まない人は読書への興味をきっかけを作れるかも知れないし、みんなで話し合うことで孤独のイメージを薄くしたり読書の面白さに気づくことができるのではないかと思います。(女/12 歳/中学生)
- ・みんなで同じ本を読んで、感想を言い合うようにする。連帯感が生まれ、孤独感がなくなる。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・一人で読むという読書ではなく、読みながら皆で意見を言い合う読書にする。(男/15 歳/高校生)
- ・同じ本を読んだ人と意見交換をする。するとまた新しい部分や違った見方を知ることができてその本が好きになれるかもしれない。(女/18 歳/高校生)
- ・読んだ本を周りの人にも勧めたり、感じたことを共有すると良いと思う。(男/24 歳/無業者)
- ・本を読むことと同時に、他者とのディスカッション等を通じて社会的になれるようにすること、議論ができる環境づくり(読書カフェ・サークル等の活動の促進)を計画に取り入れること。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・友達同士などで本の情報共有ができれば良いと思う。(女/17 歳/高校生)
- ・話題の本を紹介。(女/21 歳/大学生・大学院生)

■時間の使い方

- ・時間にゆとりのある生活を目指すこと。(女/25 歳/大学生・大学院生)
- ・時間を気にしすぎない。(女/15 歳/高校生)
- ・時間的にゆとりのある生活。現代の日本人にはゆとりがない。また、面接等で趣味が読書と答えると、評価されないといったことは、読書離れを加速させている。読書が趣味であることが評価される社会にならなければならない。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・余暇などのんびりする時間が増えること。休み時間が長かったり、授業が早く終わる。(女/21 歳/大学生・大学院生)

■オーディオブック・電子書籍の普及

- ・オーディオブックの普及。(男/17 歳/高校生)
- ・映像や音声が効果的に使えたら良い。その点で、電子書籍には期待する。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・個人的に、スマートフォンや本に比べて kindle のタブレットは、目の疲れもなく、読む専用のタブレットだからこそスマートフォンと同時に開くこともでき助かっている。ネガティブな印象をポジティブな印象に変えていくため kindle の使用を推奨すべきだと思う。(男/18 歳/高校生)
- ・電子書籍の発展、利便化。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・電子書籍の普及によってスマホを操作するのと同様に、一人で楽しんでも疎外感や他者を排除している感じを与えないことで、ポジティブな印象を持つように繋がると思います。(男/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・聞く読書というものが流行りつつある。これを使えば、実際に活字を読まなくてもいいし、散歩をしながらでも本に触れることができる。本の面白さを徐々に知ってもらって、最後は活字の本を読み込めるようになっていけば良いと思う。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・本の学割、新書の内容かつ気軽に読める電子書籍、小中学校の図書館からでも新書が置いてある環境。(男/26 歳/正社員・正職員)

■内容の充実・イラスト・デザイン

- ・ブックカバーを可愛いデザインの物を利用したりすることで、周りからの印象も明るくなる。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・字の大きさを選べるものがあれば良い。(女/16 歳/高校生)
- ・小説などは、活字によるトリックを組み込んでいたりするので、難しいが、そうではないものは、パッと見てイメージがわかりやすいような図やイラストなどが掲載されていれば、流し読みをしても印象に残りやすいし、そこだけでもきちんと読むと思う。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・大人向け小説を、平仮名の多い文に変えて小学生でも読めるようにする。(女/17 歳/高校生)
- ・表紙をおしゃれにする。挿絵を入れる。本を読むことがおしゃれ、という流行を作る。(インスタとかやってるのがおしゃれみたいな感じで)。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・分かりやすく、役に立つ情報を多く盛り込む。(男/19 歳/大学生・大学院生)

■興味を持つ

- ・楽しくするために、とりあえず、軽くて、ちょっと考えさせられるような本を薦めてみる。(女/21 歳 /大学生・大学院生)
- ・自分が好きな本に出会うこと。好きな作家を見つける。(女/26 歳/大学生・大学院生)
- ・自分にあった本に出会えば、読書は好きになれる。ネガティブな考えの人は、まだ自分の 1 冊に出会っていないと思う。(女/16 歳/高校生)
- ・自分の興味のある内容の本を読む。本を読む目的を明確化する。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・自分の好きな本をとにかく見つけて読んでもらうしかない。1 冊でもいいから、本当に好きな本と出会うこと。本に対する無条件的な、拒否反応をなくすことさえできれば、本に親しんでくれる人が増えると思う。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・新書など幅広いジャンルをもつ活字の本で、まずはそれぞれの人が持っている趣味にあった(スポーツから芸能から何から)本を読んでもらえるように働きかけを行うと、多くの人が読書の良い点に気づくと思います。(男/23 歳/大学生・大学院生)
- ・読書することが楽しいことをアピールする。自分の興味のある本を読んでもらう。(女/15 歳/中学生)
- ・本の選び方・好きな本との出会い方を教えるべき。自分の好きな本に出会えていないから、読書を嫌いになってしまうのだと思う。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・本の知識が役に立っていくこと。色々な本があることを知ってもらうこと。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・無理をしないで文字数が少ないものや、自分が好きなジャンルを選ぶことが、読書を楽しむものに変えていくと思う。(女/27 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・面白いと思う本に出会えることだと思います。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・読書に苦手意識がある人は、薄い本あるいは映画の原作になっている本を選んで読んで見ると、楽しいと感じると思う。(女/17 歳/高校生)

■芸能人・メディアの活用

- ・人気のある芸能人なども読書を好きで・・・ということをアピールしていけば良いと思う。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・ネットのレビューを調べる。(男/18 歳/高校生)
- ・読書好きな人のイメージを変えれば良いと思うので、読書好きでありながら明るいキャラクターの有名人を使って PR すれば良いと思います。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・普段から本を読んでなさそうな人や、スマートな印象の薄いタレントが出ると、普段から本を読む人からしたら辟易するので(友人とそんな話になったことがある)、普段から本を読んでいると公言している芸能人や、知的な印象のタレントを起用して、読書への良いイメージを浸透させる。(女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・本を読むことのメリットをもっとメディアなどを通じてアピールする。(男/17 歳/高校生)
本を読まない子どもに本を読んでもらう。そのためには本を好きになってもらうしかない。そのためには、好きな人に本を勧めってもらうことが大切だ。例えば、今なら月に一回、You tuber などに本を勧めてもらえば良いと思う。(男/22 歳/正社員・正職員)

■その他

- ・キャンペーンを行う。ネガティブな言葉をポジティブに言い換えて宣伝する。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・その時に読んで難しすぎてもいつか理解できる日が絶対にやってくるし、同じ本を違うタイミングで読んだらまた新しい発見がある。(女/16 歳/高校生)
- ・街の中に手軽に借りられるスペースがあると良い。図書館は地域のある場所に行かなければならない。販売に対する補助を高める。購入を促す。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・懸賞がついた読書感想文コンクールを数多く実行する。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・読書は知識が増えるだけでなく、読解力を身につけることができる。私は現在、高校三年生だが、入試科目の小論文や現代文の小説を解くのに苦労した。もっと本を読んでおけばよかったと後悔している。読書をするとなんかどう変わるのかを身をもって体験させることが必要なのではないか。読書をする子どもとしない子どものセンター試験の国語の得点率などを産出し、提示してみてはどうか。(女/18 歳/高校生)
- ・本の単価を下げる。本のレンタルを普及させる。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・目が悪くなることは仕方ないと思うが、ブックカバー等に読書前後に、目の運動をするように等の説明を記載しても良いと思う。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・読書は、強制するものではなく、各人が必要な時に必要なものを読む、というふうにしたほうが良いと思う。(男/30 歳/正社員・正職員)

質問 3 これまでの読書体験を思い出し、小学生のころ・中学生のころ・高校生のころの各時期において、本を読もうと思った主なきっかけを教えてください。(例：学校や地域の図書館での取組、家族や近所の人など周りの大人からの働きかけ、友達のおすすめ)

提出された主な意見

■読み聞かせ・読書タイム

- ・学校での朝読書の時間や、読書週間などの取り組み。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・学校での読み聞かせ。(男/15 歳/高校生)
- ・小学校から高校まで朝読書の時間があり、読書のきっかけとなりました。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・小学校のころは、読書タイムというものがあつた。中学校、高校では、ドラマを見てからその原作本に興味を持って読むようになった。(女/16 歳/高校生)
- ・小学生、中学生は学校で朝読書が 15 分あつたので必ず毎朝読んでいた。高校は大学入試の際のために読んだ。テレビドラマが好きで、ドラマの原作本をよく読んでいた。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・中学時代の全校一斉読書。好きな本を楽しくじっくりと読める。そういう時間を強引に確保していたのは良かったと思う。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・本を読むきっかけは、小さいころから読み聞かされていた絵本だつた。その時楽しいと思つたから、姉たちが持っている小説、中学生になってからは自分の興味のある分野についての研究本などを読むきっかけになつたのだと思う。(女/14 歳/中学生)

■図書館・学級文庫

- ・ただ読みたいと思つた時に幸運にも図書館などを利用できる機会があつたから。雨の日などは時に読書に最高だつた。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・学級文庫や図書館に、興味のある本が揃つていた。特に、図書に触れるためには、学級文庫の存在は大きかつた。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・周りよりも抜きん出たいという欲が読書を促したことがありました。また小学校の学級文庫は、目の前にあるということで読もうという気分を引き立てました。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・小学生のころ学校の図書室をみて、なぜかワクワクした。本を読むことが好きだつた。中学生のころ友達からオススメの本を紹介してもらつたりした。(女/14 歳/中学生)
- ・図書館のオススメで読み始めた。(男/17 歳/高校生)
- ・朝読書、図書の時間、図書館の存在。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・保育園にあつた図鑑みたいな本が面白そうだつた。小学校の図書館がスタンプカードを利用したイベントを催していたから。中学生の時にできた近所の図書館が綺麗で行きたいと純粋に思つたから。図書館の利便性がよかつた。(女/18 歳/高校生)
- ・本で得られる体験が好きだつたから。図書館、図書室の居心地が良かったから。(女/29 歳/正社員・正職員)

■アニメ・ドラマ・映画の原作

- ・ドラマの原作ということで読んでみた。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・一人の世界が好きだったので没頭できるものとして、世の中のことが知りたいと思い新書を読み初め、さらに深めたいと思うと専門書へ、学校の影響はほぼなかった、好きなアイドルがおススメしていた、映画やドラマの原作本を読む。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・映画を見て原作が気になったから。自分に必要な知識を得るために。語彙や表現を増やすために。(男/18 歳/高校生)
- ・テレビで見た「フランダースの犬」を原作で読みたいと思ったことです。(女/17 歳/高校生)
- ・小学生の頃はアニメをきっかけに、それ以降は教科書や試験に一部載っている物語が面白く、続きを読みたいと思ったことがきっかけです。(女/20 歳/大学生・大学院生)

■周りの人からの勧め・影響

- ・ハリーポッターが流行ったこと、親が図書館によく連れて行ってくれたこと、図書館司書の先生が優しかったこと。(女/25 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・学校から推薦された。(男/17 歳/高校生)
- ・好きな人がその本を読んでいたからと言う理由で、中学の時とても分厚い本に手を出したのは記憶にあります。(男/17 歳/高校生)
- ・姉の影響。友達とおしゃべりしたなかで興味を持ったから。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・小さい頃からまわりにずっと本があったので気づいたら手に取っていた。(女/15 歳/高校生)
- ・小さい時から本が身近にありました。母親も読み聞かせなどをしてくれましたし自分も本が大好きになりました。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・小学生の頃は、学校の影響、読めと言われるから読んでいた感じ。中学生の頃は、読んでいない。年頃的には漫画にはまる年頃だろう。高校生の頃は、社会科の先生の影響があった。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・親が読書好きでよく図書館に行っていたため。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・中学の頃の国語の先生とお気に入りの本が同じで会話をしているうちに読みたい本が増えていったから。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・父が毎晩読書していた。(女/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・母親がよく本を読んでいたのも、一緒に書店に行くうちに本に興味を持った。初めは市の図書館に連れていってもらって好きなものを選び、読書の面白さを知った。(女/22 歳/正社員・正職員)
- ・母親が図書館から、面白い本を借りてきてくれたことがきっかけで、本が好きになりました。(男/25 歳/大学生・大学院生)
- ・本をちゃんと読み始めたのは高校からでした。学校で読書が大事だと耳にタコができるくらい言われ続けたのと、身近に読書を続けてきた先輩がたくさんいて、そういった先輩と話す则他の読書をしない高校生とは違って発言に自信があるしかっこいいと感じて憧れたからでした。(女/17 歳/高校生)
- ・友達がオススメだと言ったことや、あらすじを読んで、読んでみたくなったことや、学校や新聞でオススメしていたりした。(女/19 歳/大学生・大学院生)

■課題・授業・進路

- ・課題で読むことや学校の読書タイムで読むことが多い。(女/13 歳/中学生)
- ・課題図書となっていたり、自分が興味のある分野や事柄についてより深く知りたいと思ったときに読書をしていた。(男/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・学校での宿題や、読書感想文用に。あとは流行っている本。(女/13 歳/中学生)
- ・中学校受験での頻出作家を読んだことがきっかけ。(男/17 歳/高校生)
- ・読書感想文の宿題で仕方なく読んでいた。(女/25 歳/大学生・大学院生)

■好きな本との出会い

- ・その本が単純に面白いと感じたから。また、自らが求めるスキル・技術がそれを読むことにより少しでも得られると思うから。(男/20 歳/専門学校・短大などの学生)
- ・なんとなく。古本屋さんに行ったら、面白そうな本が置いてあったから。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・気になる本が発売されたとき。(男/15 歳/高校生)
- ・小学校の頃にかっこいいキャラクターが表紙に描かれていた本を発見して、手に取ったのがきっかけ。それから読書って面白いと思うようになり、中学高校通じて本を読んでいました。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・鉄道に関して知ろうと思ったから。(男/13 歳/中学生)
- ・文豪を題材にしたコミックを読み、文学に興味を持った。(女/15 歳/中学生)

■その他

- ・ただただ本を読むことが好きだから。(女/17 歳/高校生)
- ・移動の暇つぶし。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・違う世界に浸れるから。嫌なことを忘れられるから。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・外で遊ぶより、中で遊ぶ方が好きだったから。(女/23 歳/正社員・正職員)
- ・小学校ではかっこつけるため。中学では通学時や休み時間の時間をつぶすため。大学以降は海外にいたからか、無性に活字（日本語）が読みたくなった。広範な情報を獲得することに興味が出てきた。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・図書館や書店のポップなどが良かったり、友達に勧められたりして読んだことは多い。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・中学時代に図書委員長だったため。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・部活動や人間関係で悩んだときに何かヒントがほしかった。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・未知との出会いや、他人の思考を垣間見ることが出来るので絵本を読み始めた頃から本を読むのが好きだった。(女/19 歳/大学生・大学院生)

質問 4-1 あなたは、好きなもの・気に入ったことなどを人におすすめしたり、感想を伝えたりするときどのような方法をとりますか。

提出された主な意見

■SNS で発信

- ・ Facebook などのソーシャルネットサービスで伝えます。(男/17 歳/高校生)
- ・ LINE で友達に伝達します。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・ twitter、instagram など。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ Twitter でつぶやく。普段の会話の中で、それとなく本の話をする。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ Twitter で感想を書く。または友達に普通に話す。簡単なあらすじを伝え、引き込まれたポイントだけ教える。貸せる時は貸す。(女/24 歳/大学生・大学院生)
- ・ 良本をシェアできる友人たちがいるので LINE で伝える。あとは SNS (主に Twitter と Facebook、Instagram) で伝える。(男/22 歳/大学生・大学院生)

■直接口頭で伝える

- ・ おしゃべりが好きなので、口頭で伝えることが多いと思います。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ これ知ってる？とてもお勧めだよ！などと、自分の口から伝える。友人などが不安に思っていることなどがあつたらそれに関連づけて、読んでみたら？などとお勧めする。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ その本の内容や、自分の気に入った部分を友達や身の回りの人に話す。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ とにかく直接相手に力説する。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ わかりやすさを重視して話す。(男/17 歳/高校生)
- ・ 会ったときに自然な会話の中で。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・ 会った時に、こんなことがあった、面白かったと直接伝える。(女/15 歳/高校生)
- ・ 関心のありそうな人に直接伝えたり、また学校の自分のお勧めの本を紹介する機会に紹介している。(女/17 歳/高校生)
- ・ 機会があればプレゼンテーションをしたり、直接話したりする。とても気に入った場合は SNS を使用する時もある。(女/18 歳/高校生)
- ・ 言葉で伝える。その本のいいところをストーリーをいうかは任せるが具体的に解説して、そのあと貸す。友達はレビューを書いている。(女/16 歳/高校生)
- ・ 私の学校では SNS などの使用が認められていないので、お昼や休み時間などの話せる時に友達に感想を伝えるようにしています。また、なるべく面白さを伝えるために、自分の興奮が冷めないうちに伝えるようにしています。(女/15 歳/高校生)
- ・ 私は、好きなものをお勧めする時、身近な友達のなかで読書に興味がありそうな人に直接話します。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ 話題の事柄に関連する本で良い本があれば教える。(男/13 歳/中学生)

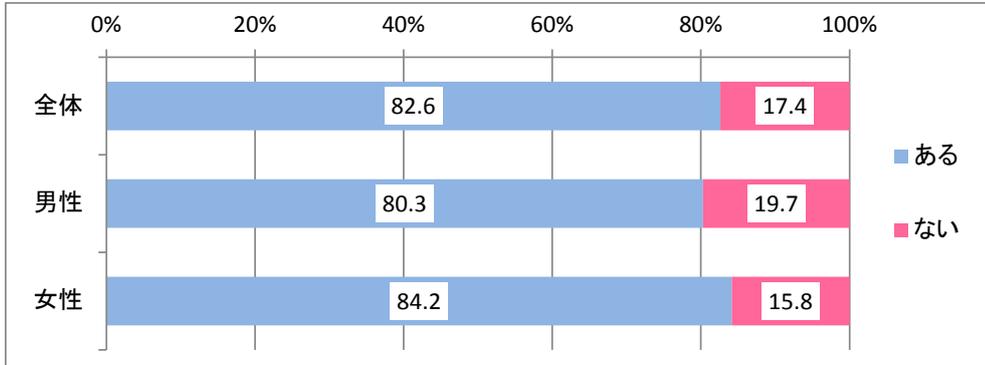
■あえて伝えない・勧めない

- ・あえて伝えない。本は人によって好みがかなり別れる。同じ好みなら同じ作家の本を勧める。(男/17 歳/高校生)
- ・あまり、人にはオススメしたりしない。強いていえば、休憩時間とかに、話のついでに興味がないか聞くくらいです。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・あまり人から勧められるのが好きではないので、できるだけ自分からも勧めないようにしている。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・あまり人に本を勧めない。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

■その他

- ・お勧めしたい本は無い。(男/18 歳/高校生)
- ・食事なら作って食べてもらうことで伝えられますが、読書は無理です。ベストセラーの本だからということで、流行で読ませる方法があります。私も乗って読んでしまいましたが、薄っぺらな内容でした。勧めるテレビや新聞の薄っぺらさを感じました。多くの人が読んでいる本は、たいてい薄っぺらです。(女/17 歳/高校生)
- ・本の紹介カードを作成する。(女/15 歳/中学生)

質問 4-2 人がおすすめているのを見たり聞いたりしたことがきっかけとなって、興味を持った
り実際に行動したりしたことがありますか。ある場合、それは誰が何をどのようにすす
めていたのかを含めてエピソードを教えてください。



上段：人数 下段：%		全 体	あ る	な い
全体		167 100.0	138 82.6	29 17.4
性別	男性	66 100.0	53 80.3	13 19.7
	女性	101 100.0	85 84.2	16 15.8
年代	12～14歳	10 100.0	7 70.0	3 30.0
	15～19歳	73 100.0	58 79.5	15 20.5
	20～24歳	52 100.0	43 82.7	9 17.3
	25～29歳	32 100.0	30 93.8	2 6.3
性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	男性 15～19歳	24 100.0	17 70.8	7 29.2
	男性 20～24歳	23 100.0	19 82.6	4 17.4
	男性 25～29歳	17 100.0	16 94.1	1 5.9
	女性 12～14歳	8 100.0	6 75.0	2 25.0
	女性 15～19歳	49 100.0	41 83.7	8 16.3
	女性 20～24歳	29 100.0	24 82.8	5 17.2
	女性 25～29歳	15 100.0	14 93.3	1 6.7
属性別	中学生	13 100.0	9 69.2	4 30.8
	高校生	56 100.0	45 80.4	11 19.6
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	1 100.0	-
	大学生・大学院生	57 100.0	47 82.5	10 17.5
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	7 77.8	2 22.2
	正社員・正職員	30 100.0	28 93.3	2 6.7
	専業主婦（夫）、家事手伝い	-	-	-
	無業者	1 100.0	1 100.0	-

- 全体で見ると「ある」と回答した割合が 82.6%、「ない」が 17.4%であった。
- 年代別で見ると、年代が上がるとともに「ある」と回答した割合は高くなった。
- 男女別で見ると、女性は男性より「ある」と回答した割合が高かった。

「ある」と回答された中で、提出された主な意見

■ネットのレビュー

- ・amazon の評価で多くの人が良い意見を言っていたから。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ネット通販で欲しいものがあつたとき、通販サイトのレビューがとても参考になった。不特定多数の人が良いと言っているものは、かなり信用性があると思った。(女/27 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・通販サイトのレビューを見て書籍を購入することはよくある。(男/30 歳/正社員・正職員)

■テレビ・SNS 等からの情報

- ・SNS で美味しい食べ物屋が掲載されていて、興味があつたので行った。SNS にはその店の住所、食べたものの写真、美味しさをできる限りコメントで伝えていた。(女/17 歳/高校生)
- ・Instagram でおしゃれな写真があがっているとき。友達からイベント情報をシェアされたとき。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・Twitter でよさそうなものを見たら積極的に自分で取り入れる。(女/16 歳/高校生)
- ・テレビやネットで紹介されたものを実際に店舗で購入したりする。(男/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・テレビ番組などで同年代の人がこの本がお勧めだと言うものは読んでみようと思う。(男/17 歳/高校生)
- ・経営者など著名人がネットの記事で紹介している書籍は興味を持ちやすい。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・大学が運営するサイトの中で、SNS の投稿内容によってその人オススメの本を選定してくれるサービスは活字離れの若者への良い働きかけであると思った。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・友達がよく化粧品のお試しを利用して SNS に投稿しているので、見ているうちに自分でも興味のあるものを試したことがある。(女/22 歳/正社員・正職員)
- ・話題性のある本だと、書店に足を運んででも見たくなる。(男/22 歳/大学生・大学院生)

■周りの人たちからの勧め

- ・友達が書いた読書感想文を読んで、すぐに読みたくなり、本屋で買った。(女/16 歳/高校生)
- ・恋人に進められた本は共有して読むようにしている。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・この漫画が面白いというのを聞いて実際に買ってみた。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・家族や本をよく読む友達に勧められて、本を買ったり借りたりしたことがあります。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・学校でみんなが話していたので、母に頼んで買ってもらいました。そしたらとても面白くて、弟も弟の友達もみんな好きになりました。(女/13 歳/中学生)
- ・学校の授業で、先生に読むよう勧められた本を地域の図書館で借りて読んだことが何度かあります。(男/15 歳/高校生)
- ・学校の先輩から、自分の研究したいテーマに沿つたお勧めの本を紹介していただいた。テーマに必要な知識はもちろん、語彙や表現を増やすことにも繋がった。(男/18 歳/高校生)
- ・高校のビブリオバトルで紹介された本に興味を持ったことがある。ネタバレしない程度にうまく本を

紹介していた。(男/16 歳/高校生)

- ・私が特に読みたいという本がなく、なにを借りようか迷っていたときに、友達がこれは絶対読んだほうが良いと強くお勧めしてくれた。(女/14 歳/中学生)
- ・小学校からの友人が読書会を開くというので、誘われて参加した。参加者各々が最近読んだ本で良本だと思ったものについて簡単に感想や情報をシェアする。仲の良い友人なので信頼しているし、その本についての説明も面白そうなので、読んでみたいと感じる。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・親がある作家の本を勧めてくれたのがきっかけで、そのシリーズを読むようになった。(女/15 歳/中学生)
- ・先輩からこれおもしろいよと勧められ、気になってみてみたら今では深くハマっています。(女/15 歳/高校生)
- ・大学教授が専門書を推薦している場合、その本を手にとることが多い。専門書等は書店においても目にする機会が少ないため、専門家のお勧めを探して読むことが多い。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・担任の先生が個人的に本を勧めてくれた。(男/17 歳/高校生)
- ・同じ作者が好きな友達が多く、これ読んだんだけどよかったよ、と言われたものはすぐ借りて読んでいる。また、新聞に載っていたお勧めの本を図書館で借りて読むこともある。(女/17 歳/高校生)
- ・同じ趣味をもつ家族が会話のなかで面白いと言っていたことがきっかけで、実際に行動しました。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・特別思い出せないが、人からの感想によって興味を持ったことは多々ある。話を聞いた中で面白そうだと思う部分があれば、その後自分で調べて、本当にそれが好きかどうかを改めて確認する。無論、話を聞く際に画像や音といった五感を刺激する手法が加わればより興味が湧くことが多い。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・母親の勧め。夏休みの宿題の読書感想文の題材を選ぶ時に、親がアドバイスをくれた。(女/15 歳/中学生)
- ・友だちが楽しそうに読んでいる姿を見て、どんな話か聞いたら興味をもって、読み終わった後に貸してもらった。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・友人がお勧めの本を facebook に投稿していた。興味を持ったので、インターネットでその本を購入した。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・友人が漫画や映画を原作と比較して勧めていたことによって、どちらも気になってどちらも読んだり観たりした。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・友人や家族など身近な人や自分の好きな有名人がお勧めだと言っていたとき。(女/25 歳/正社員・正職員)

■有名人・芸能人の紹介

- ・芸能人が SNS で紹介している本に興味をもって、その本を読んでみることにした。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・友達や、自分が気に入っている有名人がオススメしていた本で、感想に共感したとき、読もうと思います。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・有名人のブログ等で紹介されていて、読んでみようと思ったことがあります。(女/22 歳/大学生・大学院生)

■図書館・書店のポップ等

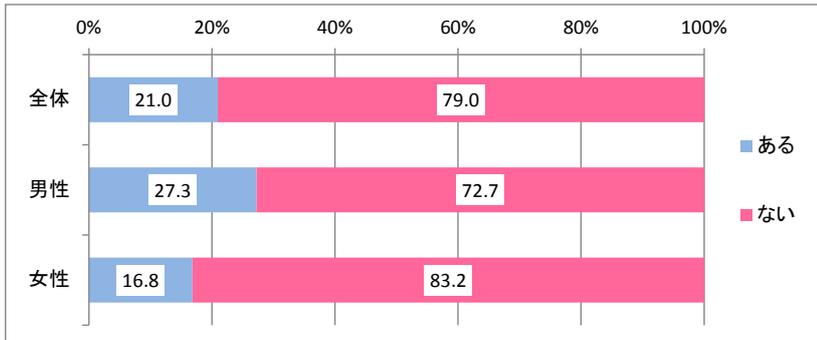
- ・実際に図書館に行き、冒頭数ページを読んだ事があった。(男/16 歳/高校生)
- ・書店で販売員さんのお勧めポップを読んで購入する。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・本屋の店員さんのオススメというコーナーでよく本に興味を持って買います。人が面白いと評価したものは、ハズレがないという安心感があるので、自分の気になっているジャンルでなくても、本屋さんのオススメという人の意見が書かれたものは気になって買うことができました。(男/21 歳/大学生・大学院生)

■その他

- ・読んでいる本の中の引用で出てきた本は読んだりする。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・兄がミニバスケットボールを熱心にやっていて、そのイベントに行ったとき。兄をはじめ、兄の友達からミニバスケットは楽しいと聞いて、クラブチームに加入をしました。(女/12 歳/中学生)
- ・新聞の書評欄を見た際に、その本をブックログというアプリに登録し、後日図書館で検索している。本のジャンルはなんでも。(男/27 歳/正社員・正職員)

質問 5-1 ビブリオバトル、ブックトークなど (※)、読んだ本をおすすめしたり、感想を伝え合ったりする活動に参加したことがありますか。

(※) ビブリオバトル…発表者が読んで面白かった本を持ち寄り、それぞれ 5 分間紹介した後、参加者全員によるディスカッションを経て投票により「最も読みたいと思った本=チャンプ本」を選定するというゲーム。
 (※) ブックトーク…子供や成人の集団を対象に、あらすじや著者紹介等を交えて、本への興味が湧くような工夫を凝らしながら本の内容を紹介すること。



上段：人数 下段：%		全 体	あ る	な い
全体		167 100.0	35 21.0	132 79.0
性別	男性	66 100.0	18 27.3	48 72.7
	女性	101 100.0	17 16.8	84 83.2
年代	12～14歳	10 100.0	3 30.0	7 70.0
	15～19歳	73 100.0	18 24.7	55 75.3
	20～24歳	52 100.0	10 19.2	42 80.8
	25～29歳	32 100.0	4 12.5	28 87.5
性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	男性 15～19歳	24 100.0	7 29.2	17 70.8
	男性 20～24歳	23 100.0	7 30.4	16 69.6
	男性 25～29歳	17 100.0	3 17.6	14 82.4
	女性 12～14歳	8 100.0	2 25.0	6 75.0
	女性 15～19歳	49 100.0	11 22.4	38 77.6
	女性 20～24歳	29 100.0	3 10.3	26 89.7
	女性 25～29歳	15 100.0	1 6.7	14 93.3
属性別	中学生	13 100.0	3 23.1	10 76.9
	高校生	56 100.0	17 30.4	39 69.6
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	1 100.0	-
	大学生・大学院生	57 100.0	10 17.5	47 82.5
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	-	9 100.0
	正社員・正職員	30 100.0	4 13.3	26 86.7
	専業主婦(夫)、家事手伝い	-	-	-
	無業者	1 100.0	-	1 100.0

- 全体で見ると「ある」と回答した割合が 21.0%、「ない」が 79.0%であった。
- 年代別で見ると、年代が上がるとともに「ある」と回答した割合は低くなった。
- 男女別で見ると、男性は女性より「ある」と回答した割合が高かった。

質問 5-2 (5-1 で「ある」と答えた方) そのときの感想を教えてください。

提出された主な意見

■楽しかった

- ・すごく楽しかった。色々な本の種類を知ることができたし、本を読んでいることに誇りを持って堂々と紹介することができた。読んで見たいという本も増えて、本を読むきっかけとなった。(女/15 歳/高校生)
- ・とっても楽しかった。個人的な意見ではあるが、本を読む習慣がある人って素敵な人が多い。定期的に参加したり、開催したりしたいと思っている。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ビブリオバトルに参加。高校に入ってすぐ行われた全員参加型の企画だったのだが、かなり興味を持ってくれたので嬉しかった。(男/16 歳/高校生)
- ・学校の授業内で体験したのですが、時間が少なく感じました。活動自体はとても楽しかったのを覚えています。(男/15 歳/高校生)
- ・自分がお勧めしたいと本当に思っているため、自分の言葉で素直に発表することができました。そのため、その気持ちが伝わり投票数が一番になったときはとてもうれしかったです。自分のすきなきもちが伝えられてスッキリしました。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・自分の好きな本の魅力を語れるのは幸せな時間だった。いい本だと思っても、具体的に言語化してほめる機会はなかなかないので、良いきっかけになった。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・特定の分野に関連した本をそれぞれが選んで発表するというものだったが、同じテーマでも様々な本が挙がり、またその本に対する個々の意見も様々で新しい発見がたくさんあり大変おもしろかった。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・難しいかとは思っていたが、自分と違う読み取り方をする子もいて、面白かった。(女/15 歳/高校生)

■頭を使った

- ・あくまで読みたいと思ってもらうためのプレゼンだったため、誘引する文句を考えるのに頭を使った。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・本の魅力を伝えられるようにすることと要約をわかりやすく述べた。(男/17 歳/高校生)
- ・魅力的に伝えるのには工夫がいることと、多少は相手の趣向も評価に入るため選定には気をつける必要を感じました。ただ打ち負かすことが目的ではないはずですから、気楽に参加しようと思いました。(男/21 歳/大学生・大学院生)

■発表者の事を知ることができた

- ・オススメポイントで他の人はこういうところに感銘を受けているんだと知り、その人の性格を理解する良いきっかけになったと思っている。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・この人は、こんな本を読むんだと、その人の内面を知ったような気がした。(女/16 歳/高校生)
- ・著者が自分の本の内容をもとに喋る場だったので親近感がわくし、すぐに質問等できるのがよかった。(男/26 歳/正社員・正職員)

- ・同じ本を説明するにしても、人によって説明方法が違い興味深かった。(男/16 歳/高校生)
- ・友達の好きなジャンルなどが知れてよかった。(男/17 歳/高校生)

■本選びの参考になった

- ・1 人 1 人意見や切り込み方が違うので新しい気づきやもう一度読むきっかけと参考になった。(女/14 歳/中学生)
- ・ビブリオバトルで今までで手をつけなかったようなジャンルの本を読んでみようと思えた。(女/17 歳/高校生)
- ・自分が選んだ本が勝つと嬉しかった。また、他の本への興味を持った。(男/15 歳/高校生)
- ・自分は文系だが医療の本など今まで読まなかった本の魅力を実際に読んだ人から聞くことで、新しい分野に興味を持つようになった。読まない面白さはわからないが、読むまでが遠かった私にとって新しい世界を見ることのできる素敵な機会だ。(女/17 歳/高校生)
- ・他人の書評を聞くのが楽しく、選書の参考になった。(女/27 歳/正社員・正職員)

■楽しくなかった、つまらなかった

- ・あまり楽しくはなく、もう一度やりたいとも思わなかった。(男/13 歳/中学生)
- ・あまり面白くなかったです。(女/13 歳/中学生)
- ・つまらなかった。(男/30 歳/正社員・正職員)

■緊張した

- ・緊張しました。(女/17 歳/高校生)
- ・中学生のころ。緊張した。あまりまとまった内容の話をする能力がなかった。(男/29 歳/正社員・正職員)

■その他

- ・学校で行われたのですが、先生が行うブックトークはやはり堅苦しくあまり面白くなかったのが感想です。ブックトークはビブリオバトルと違いチャンプ本が決まらないため気軽にやる事が出来ますが、その分発表の質は下がってしまうのかなと感じました。私はビブリオバトルの方がしっかりとその本への魅力を伝えることが出来ると考えています。(男/17 歳/高校生)
- ・感想を言われるのは好きではないので、その本の情報を伝えてくれるタイプであればとても楽しく感じられた。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・小学生の時に本に付ける帯を作りました。あまり詳しいことは覚えていませんが、本を何回も読んで内容を深く理解しながら作っていきました。(女/16 歳/高校生)
- ・本を伝えることに関しては、とても良いことであるし、実際にプレゼンテーションの勉強にもなるが、オーディエンス側から見た場合、興味の無い、興味のそそらない本については、とことんつまらなく、話半分以下で聞いていた。(男/20 歳/専門学校・短大などの学生)

質問 5-3 (5-1 で「ない」と答えた方) やってみたいかどうかと、その理由を教えてください。



上段：人数 下段：%		全 体	や っ て み た い	や っ て み た く な い	
全体	108	100.0	62 57.4	46 42.6	
性別	男性	41	100.0	26 63.4	15 36.6
	女性	67	100.0	36 53.7	31 46.3
年代	12～14歳	5	100.0	4 80.0	1 20.0
	15～19歳	46	100.0	29 63.0	17 37.0
	20～24歳	34	100.0	16 47.1	18 52.9
	25～29歳	23	100.0	13 56.5	10 43.5
性別×年代	男性 12～14歳	1	100.0	1 100.0	-
	男性 15～19歳	14	100.0	9 64.3	5 35.7
	男性 20～24歳	14	100.0	9 64.3	5 35.7
	男性 25～29歳	12	100.0	7 58.3	5 41.7
	女性 12～14歳	4	100.0	3 75.0	1 25.0
	女性 15～19歳	32	100.0	20 62.5	12 37.5
	女性 20～24歳	20	100.0	7 35.0	13 65.0
	女性 25～29歳	11	100.0	6 54.5	5 45.5
属性別	中学生	8	100.0	6 75.0	2 25.0
	高校生	32	100.0	22 68.8	10 31.3
	専門学校・短大などの学生	-	-	-	-
	大学生・大学院生	38	100.0	20 52.6	18 47.4
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7	100.0	2 28.6	5 71.4
	正社員・正職員	22	100.0	12 54.5	10 45.5
	専業主婦(夫)、家事手伝い	-	-	-	-
	無業者	1	100.0	-	1 100.0

- 全体で見ると「やってみよう」と回答した割合が 57.4%、「やってみたくない」が 42.6%であった。
- 年代別で見ると、20～24 歳は「やってみたくない」の意見が過半数以上であったが、それ以外の年代では「やってみよう」という意見が過半数を上回った。
- 男女別で見ると、男性は女性より「やってみよう」と回答した割合が高かった。

「やってみたい」と回答された中で、提出された主な意見

■参加したい、面白そう

- ・ビブリオバトルに参加してみたいと思っています。そのためにも、読む本のバリエーションを増やしたいと思っています。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・やってみたい。一人で読むより、他の人の感想を聞いてみたい。ただ、少数意見や尖った意見を言いくい空気にならないか心配。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・やってみたい。活動自体は、聞いたことがあり興味があったが、なかなか行っている場所や時間帯が身近な場所ではなく、参加できていない。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・やってみたい。単純に盛り上がりそうだし楽しそう。でもなかなか機会がないし、ビブリオバトル自体あまり聞かない。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・やってみたいと思います。本を紹介するのだけではなく、好きなものを人にお勧めするのが面白くて好きだからです。(女/12 歳/中学生)
- ・以前、知人が参加して面白いと言っていたので。機会があれば参加してみたい。(男/30 歳/正社員・正職員)

■知らない本と出会いたい

- ・機会があったらやってみたいと思う。自分と他人は価値観が異なるので、本に対する興味、そしてジャンルも人それぞれである。そういった人が集まることによって、今まで自分が読んでこなかった本のジャンルに関心を抱くようになるかもしれないと思うから。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・自分の知らない面白い本を読んでみたい。(男/18 歳/高校生)
- ・他者のお勧めの本を知り、自分では関心のなかった分野の本を読むことで見聞を広められる可能性があるため。(女/17 歳/高校生)
- ・沢山ありすぎる中から興味のある本を見つけるのが手間だという人はいると思うし実際自分もそういうところはあるので、気になる本をある程度絞られることは、新たな読み手を生み出すために良い働きをすると思うからです。(男/21 歳/大学生・大学院生)

■聞く側で参加したい

- ・発表はしたくないが発表を聞くことはしてみたい。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・傍聴はしてみたい。ビブリオバトルやブックトークに参加するのはきっと本が好きな人が多数だろうし、そんな人たちが自分の好きな本を紹介してくれたら、その後読む本を探す時の参考にもなりそう。しかし傍聴するだけなら気楽だが、人前で話すのは緊張するし苦手で、口下手なので自分が紹介する側になるのはためらいがある。(女/15 歳/高校生)
- ・私の価値観で他人を響かせる自信がない。聞くだけなら参加したい。(女/21 歳/大学生・大学院生)

■その他

- ・今度の学校の授業でビブリオバトルをやります。(女/16 歳/高校生)
- ・存在を知らなかったから。(男/17 歳/高校生)

「やってみたくない」と回答された中で、提出された主な意見**■発表するのが苦手**

- ・人と話すのは苦手だから。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・多くの人に伝えられるほど、マニアックな読書家ではないから、敷居が高いイメージを持っているため。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・発表が苦手だから。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・面白く説明できる気がしない。(男/17 歳/高校生)
- ・初対面の人に自分の意見を伝えるのが苦手なので。(女/16 歳/高校生)
- ・読み聞かせは感情を含ませる必要があると思いますので、私自身は苦手ですからやろうとは思いません。(男/24 歳/無業者)

■読書は個人で楽しむもの

- ・自分の感じ方で良いと思うからです。(女/14 歳/中学生)
- ・読書は好きだが、あくまで個人的に、あるいは小規模なグループ内でたのしみたい。(女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・本を読んだ後、一人で満足することが多く、特別人に薦めたいとは思わないから。そのような活動とセットで本を読むようになってしまうと、活動のプレッシャーの割合が大きくなってしまい、自由に本を読む楽しみがなくなってしまうから。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・感じ方はそれぞれなので、他者の感じ方に興味がないと感想を聞いてみたいとは思わない。(女/21 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・自分が本を読んだ感想を必ずしも人にシェアしたいとは思わないため。近しい人にシェアすれば十分だと思う。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・自分の好きなものを積極的に人に勧めようとは思わない。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・感想は自分の中で感じて吸収することで十分だから。(女/17 歳/高校生)
- ・本は個人で楽しむほうが好きだから。(男/20 歳/大学生・大学院生)

■準備が大変そう

- ・ビブリオバトルに参加する時間がないので難しい。準備に時間もかかりそう。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・やってみたいが、準備が大変そう。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・読む暇も、スピーチを作る時間もないからやってみたくない。(男/22 歳/正社員・正職員)

■その他

- ・あまり本そのものに興味がないからです。(女/15 歳/高校生)
- ・今のところ興味がありません。実際に見たり聞いたりしたら、興味が沸くかもしれません。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・特に興味がない、時間がない。(女/23 歳/正社員・正職員)
- ・読書をして、その作品について深く考えるというよりは、良いと思ったものをどんどん大量に読んでいくということに重点を置いているため。(女/18 歳/高校生)
- ・結論はもちろん、あらすじや内容を先に伝えられると読む気が無くなるから。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・興味はあるが、見ず知らずの人とやりたいと思わない。(女/24 歳/正社員・正職員)

質問 6 それぞれ以下のような理由で読書をしていない友達がいます。あなたはその友達に、自分から進んで本を読んでもらいたいと考えるとき、どのようなことができますか。具体的に教えてください。なお、それぞれの設問について必ずしも異なる答えを書く必要はありません。

1 部活で忙しくて時間が無いと言っている友達

提出された主な意見

■短時間で読める本を勧める

- ・隙間時間の読書を勧める。
 - ・1日 1.2 分でもいいから寝る前だったりトイレの時だったりちょっとした時間に読んでみて！と話す。(女/22 歳/大学生・大学院生)
 - ・ショートストーリーがたくさん詰まっている本を勧める。(女/15 歳/高校生)
 - ・ちょっとした時間でも読み切れる本や、長くても、少しずつ読める本を勧める。(男/15 歳/高校生)
 - ・もし電車を使って通学しているなら、電車で読んでみたらとお勧めする。(女/21 歳/大学生・大学院生)
 - ・一気に本を読む必要はないので、通学の電車や寝る前の 10 分間など、自分で時間を決めて数ページずつ読んでみたらどうかという提案をする。(女/18 歳/大学生・大学院生)
 - ・学校での朝読書を勧める。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
 - ・簡単に読み切れる本を勧める。(女/18 歳/大学生・大学院生)
 - ・隙間時間で読み進めることのできる、章立てで内容が区分されていて内容が明快なものを勧めることができる。(男/22 歳/大学生・大学院生)
 - ・寝る前の 5 分とかでも十分本は読み進められるし、読書は短期間で行うものでもないからゆっくり読めばいいと伝える。(女/17 歳/高校生)
 - ・短い短編集を勧める。活字が大きくてかさばらない本を勧める。(女/20 歳/大学生・大学院生)
 - ・短くても良いので読書する時間をつくり、試してみるよう提案します。(男/21 歳/大学生・大学院生)
 - ・部活の行き帰りの電車に乗っている時間の暇つぶしとして勧める。(女/18 歳/高校生)
 - ・面白くて短い本をお勧めする。時間がなくても読めるような短いものが良いと思う。(女/27 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
 - ・授業の合間の短い休み時間だけでも読んでみたらと勧める。(女/21 歳/大学生・大学院生)
 - ・綺麗な写真集とかでもいいから読んでもらおう。(男/28 歳/正社員・正職員)

■役立つ本（部活、チームワーク等）を勧める

- ・所属している部活につながる分野に興味を持ってもらおう。例えば運動部ならばフィジカルな部分とメンタルの部分、また食生活や解剖学的なものまで幅広いと思うので、話をする中で、興味のある方を探りたい。(女/17 歳/高校生)
- ・その部活に関する本、小説を勧めてみる。サッカー部ならば、サッカーが題材となっている小説など。(女/29 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・その部活を基にした漫画や短編小説を勧めてみる。(女/20 歳/大学生・大学院生)

- ・運動部であれば、スポーツ系（選手）の本や雑誌などを勧めて、色々な生き方や考え方を紹介する。（男/22 歳/正社員・正職員）
- ・興味のある分野から読んでみる。スポーツの部活に入っているなら、選手の著書など。（女/19 歳/大学生・大学院生）
- ・読書にも努力する目標を持つと良い。戦略性やチームワークについての本から入るのも良い。（男/22 歳/大学生・大学院生）
- ・部活が始まる前や終わったときにその部活についての読書であれば苦痛にもなりにくいので、自分が見つけておもしろそうだったものをその時読むように勧めてみる。（女/14 歳/中学生）
- ・部活での活動に役立つ本もあり、ただ練習するだけではなく知識を生かして効率的にやることもスマートであると上手に勧める。あるいは、たまにはリラックスするために、わずかな空き時間に本を読んでみることも良いと勧める。（男/28 歳/正社員・正職員）
- ・部活で役に立ちそうな実用的な本を薦める。（女/20 歳/大学生・大学院生）
- ・部活のトレーニングや時間管理の参考になる本があれば勧める。（女/29 歳/正社員・正職員）

■電子書籍を勧める

- ・スマホで読める小説を勧める。（女/24 歳/正社員・正職員）
- ・スマホを使っての電子書籍の利用が最も効果的だと思います。通学時間や部活後の疲れた状態でも読書という意識をすることなく本が読めると思います。（男/17 歳/高校生）
- ・電子版の書籍を勧める。（女/22 歳/大学生・大学院生）

■あらすじを話す、お勧めの本、好きそうな本をプレゼントする

- ・お勧めの本をプレゼントする。（男/17 歳/高校生）
- ・お気に入りの本を教える。（女/13 歳/中学生）
- ・休日に遊ぶ予定をいれて、お互いに興味のある本について語り合い、関心をもっていただく。（男/21 歳/大学生・大学院生）
- ・口頭で面白いよと軽く伝え、できれば実物を見せてあげる。（男/21 歳/大学生・大学院生）
- ・自分が読んだ本のあらすじを少し話して、興味をもたせてその本を薦めてみる。（男/18 歳/高校生）
- ・自分が読んで楽しかった本を軽く話題に出してみる。もし少しでも興味を持ってくれたら、後日貸してあげる。（女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員）
- ・友達が好きそうな本を貸す。（男/25 歳/大学生・大学院生）
- ・友達に頼んで、読んで面白かった本のあらすじを教えてもらう。（男/20 歳/大学生・大学院生）

■映画化されている、著名人が推薦しているものを薦める

- ・スポーツ選手の自伝本を勧めてみる。（女/26 歳/大学生・大学院生）
- ・所属している部活に関連のある偉人や、注目を浴びている方が著者の作品を勧めて自発的に本を読んでもらう。（男/18 歳/高校生）
- ・今度映画化するよと言う。（男/17 歳/高校生）

■何もしない

- ・あえて何もしない。(女/18 歳/高校生)
- ・どうしようもない。部活に行かなければ先生に怒られるし、家庭学習ノートもあるから無理。(男/13 歳/中学生)
- ・学校の朝の読書タイムの時間だけでも読む機会があるのだから、無理やり読書を好きになるように押しつけるのは良くない。(女/15 歳/中学生)
- ・時間がないのであれば無理強いはしない。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・無理です。興味ないと思います。(女/14 歳/中学生)

■その他

- ・SNS に写真付きで上げる。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・朝読むとスッキリする。(男/17 歳/高校生)
- ・長期休暇中に読んでもらう。(男/15 歳/高校生)
- ・部活が休みの時にでも読んでみて。(女/25 歳/大学生・大学院生)
- ・部活を一生懸命やればいいと思う。部活で本当にうまくなろうと思えばいつかは進んでその部活に関する本を読むようになると思うし時間がないと言っている人は時間をつくっていないだけだと思うから。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・部活動に集中するためにも本を読む時間を作りリラックスすることが大切。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・部活内で、読書する日をもうける。(男/16 歳/高校生)

2 スマホを長い時間使っている友達（SNS やゲームなど）

提出された主な意見

■電子書籍を勧める

- ・ SNS から誕生した小説やエッセイの本を薦める。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・ スマホでも読書できることを教える。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・ 相手が興味を抱くような、スマホで読める電子書籍を教える。ゲームの原作を薦める。読書関係の SNS 投稿をその相手に流す。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・ スマホで読書ができるアプリを紹介して、定期的に読書をする習慣を身につけさせる。(男/18 歳/高校生)
- ・ 携帯で読める電子書籍は、普通に買うより安いよ、と伝える。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・ 携帯に kindle や青空文庫のアプリを入れても、時間を潰せることを伝える。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ 携帯小説をオススメする。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ 電子機器に触れる時間が長いことは電子書籍を読むには有利なポイントでもあるので、その点を勧める。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ 読書アプリみたいなものを薦めてあげるといいと思います。スマホだと気軽に読めるし、本を読む第一歩につながるかもしれないからです。(女/12 歳/中学生)

■読書のメリットを伝える

- ・ SNS などを使用することは悪いことではないが、SNS は正しい日本語を使う機会や広い知識を蓄えるためには不十分である。知識や語彙の欠落によって、成長するにつれ恥ずかしい思いをすることがあるから、読書は並行して進めたほうが良い。(女/18 歳/高校生)
- ・ SNS やゲームだと何も残らないけど、本を読むと気持ちも良くなるし、自分の心に残るものがあることを伝える。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・ ブルーライトなどの被害を受けずに楽しめるものとして勧める。(女/18 歳/高校生)
- ・ 今はアプリとかでも本を読める。スマホを長い時間見ていると目が疲れたりもするから、紙媒体の本を読むことも勧める。(女/17 歳/高校生)
- ・ 視覚的、聴覚的に刺激は少ないかもしれないけれど、もっと内面的な広がりや興奮があると伝える。想像力を駆使して、見えるもの以上の事を感じ取ることが出来ると思う。(女/17 歳/高校生)
- ・ 読書した方が将来の役に立つかもよ?と読書の魅力を教えてあげる。(女/16 歳/高校生)
- ・ 読書はスマホやゲームにはない魅力があることを紹介します。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ 読書を通して、自分の世界を広げてほしいと伝える。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・ 本を読むことに時間を投資するメリットを伝える。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・ 目が極度に疲れるのを避けれるし、読み返すことも容易である。(男/16 歳/高校生)
- ・ 目が疲れたら本を読んでみよう。(女/17 歳/高校生)
- ・ 目に良くないので画面ばかりを見るのではなく本も見たほうが良い。(男/28 歳/正社員・正職員)

■ゲームに近い内容の本を勧める

- ・ SNS で話題の本を勧めたりゲームに関係する本を勧める。(男/24 歳/無業者)
- ・ ゲームの原作やテーマとなっている本だと勧める。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・ ゲームをする友人なら、そのゲームに関連するような本を勧めてみる。SNS なら、SNS を通じて試し読みを紹介したり、他の人の感想を引用して興味を持ってもらう。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ ゲーム感覚で読める本をお勧めする。(男/17 歳/高校生)
- ・ スマホのゲームの内容に関連した本を勧める。(男/21 歳/大学生・大学院生)

■読書と SNS を絡めて勧める

- ・ SNS でこんな本が面白いって話題になっているけど読んだ?のように SNS を関連付けて薦めてみる。
(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ スマホや SNS 等に関する本を薦める。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ 近年増えているが、SNS 上で人気の読書が話題になることが多い。なのでそういった記事を SNS 上で見てもらい、そのまま Web 書籍のリンク先に飛んでもらう。SNS にレビューを載せてもらうよう立ち回り、読書好きの友達がレビューを書き込む。そういった、一つの風潮を作り上げる。レビューを見た自分は流れに乗ろうと読書の後レビューをするはずだ。(男/18 歳/高校生)
- ・ 読書にも励んでいることを SNS で投稿しよう。(男/22 歳/大学生・大学院生)

■何もしない

- ・ スマホが好きなのであればそれで良いと思う。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・ スマホ趣味の人は紙媒体を使わない。ゲーム好きに読書を勧めるのはむずかしい。(女/21 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・ 読ませる必要があるでしょうか。読書に興味がないからスマホをいじっているので、質問が間違っています。(女/17 歳/高校生)
- ・ 読書に興味のない友達に無理やり勧めても絶対に読まない。(女/15 歳/中学生)
- ・ 無理です。興味ないと思います。(女/14 歳/中学生)

■その他

- ・ きっとゲームや SNS の時間は取られたくないと思うので、音楽を聴く感じで本を読めたらいいなと思います。YouTube に載ってる朗読をオススメします!。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ ゲームで勝負を持ち掛けて、勝ったら罰ゲームとして、本を読ませるとか。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・ ゲームも本も変わらない。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・ この本面白いから、ゲームに飽きたらぜひ読んでみて、と次の行動の選択肢として伝える。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・ その人の好きそうな分野の本をオススメしてみる。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ その友達の横で本を読みます。そして楽しそうにします。スマホより読書の方が楽しいよと言います。
(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・ ねえ、ビブリオバトルっていうゲームやってみない?と言う(ゲーム関連で釣る)。(女/20 歳/大学生・

大学院生)

- ・ブルーライトの人体への悪影響とセレブの間で流行るデジタルデトックスを教える。(女/18 歳/高校生)
- ・為にならない、時間の無駄と言い、時間を効率的に使える読書を推奨する。(男/17 歳/高校生)
- ・自分が読んで楽しかった本を軽く話題に出してみる。もし少しでも興味を持ってくれたら、後日貸してあげる。(女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・写真が多めの本を勧めてみる。(女/26 歳/大学生・大学院生)
- ・少しスマホを離して、一日 10 分でも良いから読書してみることを勧めます。(女/17 歳/高校生)
- ・漫画のような読みやすい本を薦める。ケータイ小説が流行っていたときはみんな読んでいたので、参考書レベルの難しい本でなければ興味を持つと思う。(女/22 歳/正社員・正職員)
- ・友達に頼んで、読んで面白かった本のあらすじを教えてもらう。(男/20 歳/大学生・大学院生)

3 友達同士でファーストフード店等に行って、長くおしゃべりをしている友達

提出された主な意見

■電子書籍を勧める

- ・スマホで読める電子書籍を勧める。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・ネットブックを勧める。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・通学時間やなんらかの待ち時間を使って軽く読める本を勧める。携帯に kindle や青空文庫のアプリを入れてっていると便利だと伝える。(女/21 歳/大学生・大学院生)

■読書のメリットを伝える

- ・もっと深い事実や予想外の話の本があるよ、という。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・一人でゆっくり読書をする時間をとると、その反動で友人と会話した際により濃密な会話が楽しめる
と勧める。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・交友関係だけではない、新しい価値観や知識に触れる機会の大切さを、体験談を踏まえて話します。
(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・雑談や愚痴を言い合うよりも読書して知識を増やすように言います。(女/17 歳/高校生)
- ・静かに読書することは、集中力を鍛えることもできる。(男/16 歳/高校生)
- ・読書はいろんな人の考え方を知ることができるからもっと話が広がるよ、と伝える。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・読書よりもコミュニケーションの方が有意義と感じているだろうから、読書をすることで、語彙力を
はじめコミュニケーション能力が向上するというメリットを提示する。(男/18 歳/高校生)
- ・読書をすることで話題も増えることを教える。(女/15 歳/中学生)
- ・本を読むことに時間を投資するメリットを伝える。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・本を読む習慣をつけると、大学に行った時に役に立つってみんな言っているよ。(女/13 歳/中学生)
- ・話のネタを作るのにも読書は最適だと思うよ、と読書の魅力を教えてあげる。(女/16 歳/高校生)

■共通の話題になるような本を勧める

- ・おしゃべりが好きな人というのは、話題のものやお気に入りのものが多い人だと思うので、その話題
探しになるような面白い本をおすすめする。
- ・おしゃべりしながら本の話題を持ち出し、オススメの本を紹介する。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・おしゃべりの中で、「そういえばこの本面白かったよ」と本を勧めたり、映画やドラマの話から原作の
本について話してみる。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・映画の原作など、話題にしやすい本を勧める。(女/15 歳/高校生)
- ・学術的な内容の本ではなく、映画化されたものなど読みやすく、かつ友だちとの話題づくりになる本
を勧める。(女/17 歳/高校生)
- ・共に喋っているとき、最近読んだ本のことを話題に出す。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・
契約社員)
- ・今、公開されている映画の原作本を勧めてみる。(女/26 歳/大学生・大学院生)
- ・最初は付き合いつつ、徐々に関心を本に向けられるよう、話題や場所を切り替えていく。(男/21 歳/

大学生・大学院生)

- ・自分が読んで楽しかった本を軽く話題に出してみる。もし少しでも興味を持ってくれたら、後日貸してあげる。(女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・自分の考えていることや、その根拠として本を出し、紹介するほか、友達が興味ある分野の本をバックに忍ばせ、友達がその話をしてきたときに本を紹介する。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・自分もおしゃべりをする時にオススメの本を話してみる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・女子トークが弾むような本を読もうと誘う。(女/23 歳/大学生・大学院生)
- ・読みたいと思えるような興味がわく内容の本を薦める。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・本をネタにした会話をする。好きな本や苦手な本について語り合い、その友人の得意分野を知った上で、関心を持ってもらいそうな本を紹介する。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・友達が共感しそうな作品をオススメする。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・友達同士で好きな本の話をして、お互いの感想を述べ合い、読書欲求を促進する。(男/16 歳/高校生)
- ・話しの中で関心のある趣味やテーマの本を勧める。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・話をしている時に、自分が最近読んだ本を自然な流れで話してみます。(男/22 歳/大学生・大学院生)

■短時間で読める本を隙間時間で読むよう勧める

- ・お店の料理が出てくるまでの間。(女/23 歳/正社員・正職員)
- ・ファーストフード店で読める本を教える。(女/16 歳/高校生)
- ・学校での朝読書を勧める。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・寝る前に 5 分でも読んでみる。(男/15 歳/高校生)
- ・待ち合わせの 15 分前に行き、読書をする。(男/17 歳/高校生)
- ・電車など移動時間で読んだら良いよと勧める。(女/16 歳/高校生)

■何もしない

- ・おしゃべりが好きなのであればそれで良いと思う。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・その時間を大切にしたいので薦めない。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・それはそれで良いと思う。(女/23 歳/正社員・正職員)
- ・押し付けたくないから伝えない。(女/15 歳/中学生)
- ・長話やめて読書しろとは言えない……。 (女/24 歳/大学生・大学院生)
- ・話すことは良いことだ。本を読むかどうか判断するのは本人でこれはおかしい。(男/13 歳/中学生)

■その他

- ・SNS に写真付きで上げる。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・おしゃべりしてる仲間の中において読んでほしい本があったら話題にすることもできるが、興味がなければ言える空気にならないかも。(女/21 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・そのまま本屋に直行してください。(女/18 歳/高校生)
- ・その時間を家に帰って本を読ませる。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・その本が、実は世界を変えた。という感じの映画を作って、本の可能性に気づいてもらう。(男/22 歳)

/正社員・正職員)

- ・たまにそのように友達とコミュニケーションをとることは良いことだと思うので、回数や曜日を決めて、1 週間単位で遊びと勉強や読書の時間の区切りをつけるべきと言う。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・たまには 1 人でリラックスしても良い。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・たまには一人になって見たら。(女/15 歳/高校生)
- ・長居するのはファーストフード店には少し迷惑なことかもしれない。もしかしたら、もっとおしゃれなカフェとかに行って、落ち着いた雰囲気の中で本を読んでも良いかもしれない。(女/17 歳/高校生)
- ・ファーストフード店にも、オススメの本をテーブルにおいてもらう。(女/14 歳/中学生)
- ・ブックカフェと一緒にしてみる。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ミニビブリオバトルの話を持ちかける。(男/16 歳/高校生)
- ・帰りに本屋さんに寄って、話題の本とかを知ってもらえることができそうです。そして、自分の好きな本を見つけてもらえればなあと思います。(女/12 歳/中学生)
- ・口頭で面白いよと軽く伝え、できれば実物を見せてあげる。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・友達と喋ったつぶん本を読んで一人の時間を楽しむのも良いと思う。(女/17 歳/高校生)
- ・友達と喋ることもコミュニケーションとして大切だと思う。その後で良いので試しに本屋さんへ行って興味がある分野の本を買って、帰ったら読んでみてほしい。(女/17 歳/高校生)
- ・友達と話すことによってコミュニケーション能力を身につけることも大切だけど、本を読んで知識をつけることもとても大切。(男/15 歳/高校生)

4 宿題や塾で忙しいと言っている友達

提出された主な意見

■読書のメリットを伝える

- ・学校の勉強や受験勉強だけではない、新しい価値観や知識に触れる機会の大切さを、体験談を踏まえて話します。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・合間に 10 分でも興味がある本を読むと、小論文などの引き出しが増えるよ。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・宿題や塾など疲れた時に、心の拠り所にも読書はなる。(男/16 歳/高校生)
- ・人生は成績だけではなく、中身のある人間になるには本を読むべきだと伝えます。(男/17 歳/高校生)
- ・読書からも知識が得られるし、いつかそこで得られた知識が問題で生かせる時が来るので読むべきだと伝えます。(女/16 歳/高校生)
- ・読書は国語の読解力を伸ばすことを伝え、勉強の一貫として読書をするよう勧める。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・読書は読解力が備わるから国語だけじゃなくて全ての教科の勉強になるよ。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・読書をするとう勉強からそこまで距離を置かずに気分転換ができ、知性の育成にも繋がると上手に勧める。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・勉強とは関係なく自分の好きなものについて知れる機会として勧める。(女/18 歳/高校生)
- ・本を読むことで読解力が上がることを伝える。ついでにオススメの本を紹介して語り合いたい。(女/18 歳/高校生)
- ・本を読むと国語の読解力が身につく。(男/25 歳/正社員・正職員)
- ・本を読めば言葉の知識、教養範囲が増えるため更に賢くなれる。(女/18 歳/高校生)
- ・国語の勉強になると勧める。(男/16 歳/高校生)

■役立つ本（進路、知識）を勧める

- ・勉強にも活かせるような本を勧める。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・その宿題や塾に関連する、勉強に役立つような本を紹介する。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・暗記方法や受験ドラマ系のマンガやうんちく本を勧める。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・課題の役に立ちそうな科目に関する本を勧める。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・気晴らしになるような本を勧めたり、勉強に役立つような本を紹介する。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・受験にも役立つので、哲学書を読むように勧める。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・宿題に載っている作品を薦めてみる。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・知識の蓄積に役立つ本を勧める。(女/18 歳/高校生)
- ・勉強中に出てきた文章の作者の本を薦めてみる。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・勉強法を教えてくれる本を勧める。(女/22 歳/大学生・大学院生)

■息抜きになる本を勧める

- ・たまに息抜きしたら、と、本を進めてみる。内容が難しくないもの。(男/28 歳/正社員・正職員)
- ・もちろん勉強も大事だけど、ずっと集中してられるわけではないと思う。息抜きに面白い物語を読

- ・むのも良いと思う。合間に読んだり、時間を区切って勉強することも必要なこと。(女/17 歳/高校生)
- ・気晴らしに読みながら。めっちゃ面白いし、楽しいよ。自分がお勧めする本を貸してあげる。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・気分転換になりそうな楽しい本を貸す。(男/25 歳/大学生・大学院生)
- ・読書は宿題や塾の合間に息抜きで読んだら良いことを勧めます。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・息抜きになる娯楽性の高い分厚くない本を紹介します。(女/20 歳/大学生・大学院生)

■短時間で読める本を隙間時間で読むよう勧める

- ・5 分 10 分のような短い時間でも読める短編集のようなものを合間に読めば良いと思う。(女/18 歳/高校生)
- ・ショートストーリーがたくさん詰まっている本を勧める。(女/15 歳/高校生)
- ・一日 15 分ぐらいなら空き時間がとれると思うので、一気に読める短編などを読んでみることを薦める。(女/22 歳/正社員・正職員)
- ・学校の朝読書を勧める。(女/18 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・簡単に読み切れる本を勧める。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・寝る前の 5 分間の時間でも見てみて！と声をかけてみる。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・ページ数が少ない小説を勧める。(女/29 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・短編小説など通学時などの短い時間で読めるものから始めてみればと勧める。(女/15 歳/高校生)
- ・通塾中の電車バスで読める本を紹介する。(女/15 歳/高校生)
- ・電車の中や休み時間などの隙間時間に読む。(男/15 歳/高校生)

■何もしない

- ・その時間を大切にしたいので薦めない。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・まとまった時間ができた時に読めれば良いのではないかと。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・受験に向かっている人に本を読めとはあまり言えません…現代文の問題をたくさん解いてくださいと言います。あとは、受験終わったら読んで欲しい本を薦めておきます。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・忙しいと言う友達は時間がないのだから本を勧めても読まない。(女/15 歳/中学生)
- ・忙しいのであれば読書できないと思う。(男/30 歳/正社員・正職員)

■その他

- ・お気に入りの本をプレゼントする。(女/13 歳/中学生)
- ・その本を読んでもらえるように面白くその本について説明した後、急いで返さなくても良いからと言ってその本を貸す。(女/17 歳/高校生)
- ・絵が多く入った本を勧める。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・学業優先と考える。読書は落ち着いてから読んでもらいたい。(男/18 歳/高校生)
- ・学校の勉強以外に、読書することも大切な勉強。1 日に 30 分でもいいから読書する時間を確保する。また、通学中など、暇な時間も上手く活用する。(男/15 歳/高校生)
- ・休んだ日とか読んでみて。(女/13 歳/中学生)
- ・時間を効率的に使えば良いよ。(女/15 歳/高校生)
- ・自分が読んで楽しかった本を軽く話題に出してみる。もし少しでも興味を持ってくれたら、後日貸してあげる。(女/28 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・人生それだけじゃないよ、と教えてあげる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・読書をする時間を見つけてもらう。(女/14 歳/中学生)
- ・読破することではなく、好きな章や好きな部分だけで良いから、興味ある本を手にとってみることを勧める。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・勉強していれば、関心のあるテーマが自然と見つかると思う。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・本好きなら忙しくても読む。(女/21 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

5 本を読むのが苦手と言っている友達

提出された主な意見

■読書のメリットを伝える

- ・簡単な本でも良いから読むと、脳に良いみたい。(女/13 歳/中学生)
- ・世界が広がるのに、本を読まないのはもったいないよ、という。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・沢山読むうちに克服できるかもしれないと伝える。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・読むことのメリットを伝える。知識が増える、いけない場所にいける、日常を忘れられる、話のネタになる、など。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・本を読むことに時間を投資するメリットを伝える。(男/25 歳/正社員・正職員)

■興味のある内容の本を勧める

- ・その人の趣味などに関係する本を薦めてみる。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・とっつきやすい本を薦め、図書館で借りるところまで一緒にしてあげる。(女/17 歳/高校生)
- ・どんなことに興味があるかを聞いて、興味を持ちそうな内容の面白そうな本をお勧めする。(女/27 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・ページの薄い本や、その人の興味のあるテーマで本と一緒に選ぶことができます。(女/12 歳/中学生)
- ・興味のある分野の短編集を読んでもらう。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・苦手と言っている人は本に慣れていないだけだと思う。まずは内容を知っている映画の原作などを読んでみれば良いと思う。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・好きなアイドルや俳優の本を探す。(女/14 歳/中学生)
- ・好きなことを聞いて、その物事と読書の共通点を見つける。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・自分が興味をもっている分野から読書を始めると苦手意識を感じにくくなる。(男/30 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・友達が好きな映画やドラマの本を勧めてみる。(男/25 歳/大学生・大学院生)

■やさしい本、マンガ、絵本を勧める

- ・アニメなどの原作を進める。(男/17 歳/高校生)
- ・映画やアニメから作られた小説を勧める。(女/15 歳/高校生)
- ・あまり難しくない内容の本を勧める。(女/15 歳/高校生)
- ・ドラマのノベライズなど読みやすいものから始める。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・どんな簡単な本でもいいから、読者の習慣をつけてみることをお勧めします。(女/17 歳/高校生)
- ・ネットでレビューなどを確認して、自分のレベルにあった読みやすい本を探せば良いと思う。(男/15 歳/高校生)
- ・もっと簡単な本から読むよう案内する。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・絵本など、挿絵が多い本を勧める。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・簡単に読み切れる本を勧める。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・雑誌や絵本から始めてみよう。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・漫画からでも良いから本に触れて欲しい。(女/18 歳/高校生)

- ・名言集や、絵本を渡してみる。(女/19 歳/大学生・大学院生)

■短時間で読める本を勧める

- ・隙間時間で読み進めることのできる、章立てで内容が区分されていて内容が明快なものを勧めることができる。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・短い時間で読める本からお勧めする。短編で。もし、その日読めなくても、また頭から読み始めなくて良いものを紹介する。(女/17 歳/高校生)
- ・短い本や読みやすい本、興味がわく内容の本を薦める。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・短編の読みやすい作品を紹介する。(女/15 歳/中学生)
- ・長文を読まないタイプの子ならば、ショートショートを勧める。(男/22 歳/大学生・大学院生)

■何もしない

- ・苦手な人には強制しない。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・苦手な人は絶対に読まない。(女/15 歳/中学生)

■その他

- ・その人へ本を勧めることを諦めて、子どもに本を読ませると良いというような教育を行う。(男/22 歳/正社員・正職員)
- ・とりあえず、自分がお勧めの本を紹介する。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・なぜ苦手かを聞き、相手に合った読書方法を伝える。本が苦手な人の中には、努力しても解決できない理由の人もいるため、無理に薦めたくはない。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・一日に読むページ数や読む時間、一日の中で読む時間帯の設定などを提案します。また、容易な表現が多いものや、その人の興味関心のある分野の本を推薦します。さらに、後でその本について語る機会も設けることを提案します。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・活字を読むのがしんどいのもかもしれないので、読み上げ機能がついた本等、いろんなスタイルの本があることを伝える。(男/26 歳/正社員・正職員)
- ・苦手でも挑戦してみることで新しい発見があるかもしれないと勧める。(女/18 歳/高校生)
- ・耳から入ってくるような、アプリや、CD を使って音読を聞くことを勧めてみる。(男/18 歳/高校生)
- ・自分がどのくらいの本を読んでいるかを教えます。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・電子書籍とか勧めてみたらどうだろう。本が読めなくても、LINE とかメールはするだろうから、その感覚で読めないか。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・読書会などに誘ってみる。(女/24 歳/正社員・正職員)

6 一人で読むのが寂しいと言っている友達

提出された主な意見

■図書館、カフェに行くことを勧める

- ・カフェで読むことを勧める。(男/16 歳/高校生)
- ・ブックカフェや本がメインになっている宿泊施設、くつろぎながら本も読める個人経営の本屋などを勧める。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・休み時間に図書室に行くことを勧める。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・図書館で読むことを勧める。(女/24 歳/正社員・正職員)

■一緒に読む、読書会に誘う

- ・同じ本を読んで感想を共有する。(女/27 歳/正社員・正職員)
- ・その友人の隣に座ってそれぞれ違う本を読む。(女/15 歳/高校生)
- ・なるべく読んだ内容を他人に話すようにしてもらおう。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・ビブリオバトルに参加して、読書の楽しさを誰かと共有する。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・ベストセラーなどの多くの友達と感想を共有しあえる本を勧める。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・一緒に同じ本を買い、意見を言い合いながら読む。(男/15 歳/高校生)
- ・一緒に読書会をしようを持ち出す。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・学校の休み時間や登下校中など一緒に読むようにする。(女/17 歳/高校生)
- ・自分が好きな作家の本を読んでもらって意見を共有する。(女/18 歳/高校生)
- ・自分が読んでいる本を勧め、一緒に読み進める。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・自分も読んでくるから明日これについて話そう、と言う。(女/17 歳/高校生)
- ・場所はどこでも良いので一緒に読んでみます。(男/20 歳/大学生・大学院生)
- ・図鑑みたいにみんなで読める本を選んで、いっしょに読めば良いと思います。一人で先読まず、その発見や驚きを共有できるからです。(女/12 歳/中学生)
- ・読んだ感想を交換すればさみしくない。(男/17 歳/高校生)
- ・読書サークルなどに入れば感想を共有できたりするからさみしくないよ。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・読書会などに誘ってみる。(女/24 歳/正社員・正職員)

■読書感想共有サイトを紹介する

- ・ネット上で、感想を共有できるサイトを紹介する。(女/26 歳/大学生・大学院生)
- ・読書感想共有サイトを紹介する。その上で本を読んでもらって、感想を投稿してもらう。(女/29 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

■何もしない

- ・読まなくて良い。(男/27 歳/正社員・正職員)
- ・無理です。興味ないと思います。(女/14 歳/中学生)

■その他

- ・通勤通学の合間に読む、とか。(男/23 歳/大学生・大学院生)
- ・じゃあ登場人物を想像してみて。そのうち、本に入り込めるよ。(女/17 歳/高校生)
- ・スポーツものなど、人のつながりを感じられる作品を薦める。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・どんどん大人に近づくにつれて 1 人で行動する機会が多くなるから、その練習として読書に挑戦してみるように薦めます。(女/17 歳/高校生)
- ・まずは人と関われる人間になることの方が読書より大切。(男/19 歳/大学生・大学院生)
- ・絵本や児童文学を薦める。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・私にはわからない気持ちなので、何が寂しいのか聞く。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・寂しくない本を読めば良いと思う。(女/25 歳/正社員・正職員)
- ・小説系なら、感情移入を心がけながら読めば寂しくなくなると思う。このような人には余り会ったことがないのでよくわかりませんが……。 (男/16 歳/高校生)
- ・読み始めると世界観に入って孤独を感じない本を薦める。(男/17 歳/高校生)
- ・本を読んでいて、寂しくなることなんてあるんでしょうか？ちょっとよくわからないのでよく話を聞いてみたいです。(女/22 歳/正社員・正職員)

7 その他、上記以外の理由で本を読まない友達に、どのような働きかけができるか、アイデアがあれば教えてください。

提出された主な意見

■話題の本、興味のある本を勧める

- ・アニメ、ドラマ、映画好きならば原作も読んだほうが深く楽しめると思うので、原作を薦める。(女/26 歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ・あらすじを伝えるテレビ番組を見てもらって、イメージをつかんでもらってから、本に触れてもらう。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・その子の興味ある分野の本を勧めてみる。(女/20 歳/大学生・大学院生)
- ・その人に、どんな本・話が好きか聞いて、それに合った本を勧める。(男/15 歳/高校生)
- ・その友達が興味を持ちそうな本を勧めたり、読書の醍醐味を伝えたりすることができる。(男/30 歳/正社員・正職員)
- ・興味のあるものか、話題性のある本を読んだら良い。(男/17 歳/高校生)
- ・相手が興味があることを知り、相手にあった読みやすそうな本を勧めること。(女/22 歳/大学生・大学院生)
- ・漫画化やアニメ化、ドラマ化、映画化されている本を勧める。まず、漫画、アニメ、ドラマ、映画を先に見てもらい、興味をもってもらえたら本も薦める。この本がいかにも面白いかを語る。その友人が好きそうなジャンルやキャラクターを推察し、本を紹介する。(女/15 歳/高校生)
- ・面白い、興味深い本を見つけたのだから読んでみないか、という提案をこちら側からする。(女/18 歳/大学生・大学院生)

■読書の時間をとる、移動時間で読むことを勧める

- ・学校で読書の楽しさを知ってもらうために、朝読書などを勧める。(男/17 歳/高校生)
- ・空いた時間や隙間時間に読むことが出来ることを伝える。(男/15 歳/高校生)
- ・生活に余裕のある時間を作ってあげる。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・電車など移動時間で読んだら良いよと勧める。(女/16 歳/高校生)
- ・読書の習慣づけのために好きなジャンルの本を通学時間などの決められた時間で少しずつ読むことを勧める。(女/20 歳/大学生・大学院生)

■みんなで読む、簡単な本を一緒に読む

- ・SNS で流行らせる。(女/17 歳/高校生)
- ・その友達と読書する日を決めて、一緒にカフェに入りそれぞれ読書してみる。(女/17 歳/高校生)
- ・みんなで読む。(男/13 歳/中学生)
- ・やっぱり、図書館に連れていったら良いのではないかな。設備が整ってて、オシャレな所。(男/29 歳/正社員・正職員)
- ・活字が苦手な人とクイズの本で一緒に考えて、本に親しみをもつことを試みる。(女/20 歳/大学生・大学院生)

- ・簡単だけど、分かりやすいものを渡して一緒に読む。(女/23 歳/正社員・正職員)
- ・簡単に読み切れる本を勧めるのが一番いいアイデアだと考える。(女/18 歳/大学生・大学院生)
- ・近くに図書館がない、という友達を積極的に私の家の近くの図書館で一緒に本を読んだり勉強したりするよう誘っている。(女/17 歳/高校生)
- ・読書会などに誘ってみる。(女/24 歳/正社員・正職員)
- ・読書日記を付け、友人で共有する。(女/27 歳/正社員・正職員)

■読書のメリットを伝える

- ・自分が本を読んで人生が豊かになったことを正直に伝える。あと読書の楽しさも。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・知識を広げる場として本を活用すると良いのではないかと勧める。(女/18 歳/高校生)
- ・読書のプラスイメージを普及させ、学校の図書館の蔵書数を増やすなど。(男/16 歳/高校生)
- ・悩みのある友達には、悩み解決の糸口がつかめるかもしれないと読書を勧める。しゃべるのが苦手という友達には、場合に応じて使い分ける、美しい日本語が自然に身につくと読書を勧める。また、単に読めば読むほど、考えや見方の参考になるし知識を得るのは無条件に楽しいよと勧めるくらいです。(女/21 歳/大学生・大学院生)
- ・本の有用性についてアピールする。(男/17 歳/高校生)
- ・本を読むことによって、疑似体験ができる素晴らしさを教える。(男/18 歳/高校生)

■何もしない

- ・無理に読ませるものではないと思います。(男/20 歳/大学生・大学院生)

■その他

- ・ケータイを使う人が多いので、ケータイでどこでも読めるようにすることは本への興味の良い導入になると思います。また、スマホを使いすぎていると感じる人が多ければ、離れる良いきっかけになるということで本を勧めることをします。(男/21 歳/大学生・大学院生)
- ・そもそも、全員に本を読ませようとか、ファーストフード店で喋っている友達に対して本を読むよう仕向けてもおそらくほぼ無理であると思うので、全員ではなく、特定のターゲットを絞り、そこに対して適切なアプローチをしていくべきでは。(男/20 歳/専門学校・短大などの学生)
- ・そもそも本を持ち歩くのが面倒だという人には端末から読書ができるということをお勧めします。なかなか興味のあるタイトルや内容が見つからないという人には映画化など映像化されたものを見てそして再度同じ話の本を読むと映像がずっと出てきて読みやすいと思うし内容も分かりやすいと思います。(女/16 歳/高校生)
- ・できることは無理強いをしないことかと。国としては読ませたいのだと思いますが、読書はどこまでいっても自主性。そしてそれを養うには教育や幼児期の経験が必要なのかなと。ただそれには学問を中心とする弊害が立ちはだかります。そこにうまく取り入れながら共存関係を築いていくことが必要なのかなと。(男/22 歳/大学生・大学院生)
- ・どんな理由であれその人が読みたいと思わないと本は読まれないと思います。だから、いかに読みた

- いと思わせるかが大切だと考えます。(女/19 歳/大学生・大学院生)
- ・外国語の練習ツールとして外国語で書かれた本を読む競争をしようという。(女/22 歳/正社員・正職員)
 - ・学校でさまざまな種類の本に関するチラシを発行する。(女/18 歳/高校生)
 - ・最近電子書籍が安いので、タイトルが面白ければとりあえず買っておく・あとで読むを繰り返して色々つまめばいいと思う。(女/25 歳/正社員・正職員)
 - ・収入の高い人は、多く本を読む傾向にある。(男/22 歳/大学生・大学院生)
 - ・書籍は基本有料なので、読書を好かない人が出費してまで本を読むことは考えづらい。書店や Web 書籍でも年に一回本を無料でプレゼントするなり、本そのものを手にとってもらえる環境をつくる。(男/18 歳/高校生)
 - ・小学校から読書の習慣をつける。夏休みの宿題ではなく、日ごろの授業で扱う。国語の教科書の音読時間以外で(国語の時間以外で)。TV や SNS で宣伝する。(男/29 歳/正社員・正職員)
 - ・親が読書を好きでなければ、子どもは読書しません。親がすべてです。(女/14 歳/中学生)
 - ・電子辞書にも古典的な小説などは入っているし、本を読む媒体は紙だけではないことを伝える。(女/21 歳/大学生・大学院生)
 - ・読書感想文の応募で景品が当たるかも！という見出しは興味を引くのではないのでしょうか。(男/20 歳/大学生・大学院生)
 - ・本の値段が意外と高いという理由で買わない友達もいるので、学校で借りたりするなどの方法を伝えられると思います。(女/15 歳/高校生)
 - ・本を読まない理由がわからないので、難しい。(男/27 歳/正社員・正職員)